

# 地域福祉計画二一ズ調査結果報告書

平成24年3月

羽 村 市



# 目 次

<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収結果	3
4. 報告書を読むにあたって	3
<b>調査結果の要約</b>	<b>5</b>
<b>調査結果からみた課題</b>	<b>13</b>
<b>調査結果の詳細</b>	<b>17</b>
<b>I. 回答者の属性</b>	<b>19</b>
1. 性別	19
2. 年齢	19
3. 居住年数	20
4. 居住地区	20
5. 家族人数	21
6. 家族構成	21
7. 住居形態	22
<b>II. 地域での暮らしについて</b>	<b>23</b>
1. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度	23
2. 居住地域での暮らしやすさの満足度	24
3. 暮らしやすさにとって重要なこと	26
4. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安	28
5. 悩みや不安の相談相手	30
6. 隣近所とのつきあい方	30
1) 日頃のつきあい方	30
2) 今後希望するつきあい方	32
7. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと／自分にできること	33
1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと	33
2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること	35
8. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係	37
1) 住民相互の協力関係の必要性	37
2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと	38
9. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲	40
10. 災害時における住民間の相互支援	42

<b>Ⅲ. 行政と地域住民との関わりについて</b> .....	<b>43</b>
1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先.....	43
2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係.....	45
<b>Ⅳ. 地域活動の参加について</b> .....	<b>47</b>
1. 地域活動への参加状況.....	47
1) 参加の有無.....	47
2) 参加している地域活動.....	48
3) 活動への参加頻度.....	49
2. 地域活動に参加するための条件.....	49
3. 今後参加したい地域活動.....	50
4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度.....	52
<b>Ⅴ. 市の福祉施策や制度・サービスについて</b> .....	<b>54</b>
1. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況.....	54
2. 最近1年間の福祉サービスの利用状況.....	56
1) サービスの利用者.....	56
2) 利用したサービスの満足度.....	56
3. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ.....	57
1) 分かりやすさ.....	57
2) わかりにくいと思う理由.....	58
4. 福祉サービスが利用しやすい環境整備.....	59
5. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと.....	60
6. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況.....	61
7. 福祉に関する講習や研修などの参加意向.....	63
8. 今後優先して取り組むべき施策.....	64
9. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと.....	67
10. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと.....	70
11. 子どもを健やかに育てるために重要なこと.....	73

## 調査の概要



## 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、20歳以上の市民を対象に、地域福祉を一体的・計画的に推進するための意見・要望などを把握するとともに、第4次羽村市地域福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施した。

### 2. 調査の設計

#### 1) 調査対象

羽村市に居住する20歳以上の男女

#### 2) 抽出方法

住民基本台帳からの無作為抽出

#### 3) 調査時期

平成23年12月中旬～12月下旬

#### 4) 調査方法

郵送調査法

### 3. 回収結果

サンプル数	有効回収数	有効回収率
1,000	346	34.6%

### 4. 報告書を読むにあたって

調査結果の%表記については、小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも100%になるとは限らない。

複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の%を算出しているため、合計は100%を超えている。

図表中のnは回答数を示している。

図表中の記号の意味は、以下のとおりである。

全体値より	☆: +15%以上高い	★: -15%以上低い
	○: +10～15%高い	●: -10～15%低い
	△: +5～10%高い	▼: -5～10%低い





## 調査結果の要約



# I. 地域での暮らしについて

## 1. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度

居住地域での総合的な暮らしやすさについては、「かなり満足している」(12.4%)、「まあ満足している」(57.8%)を合わせると70.2%の人が“満足”としている。一方、「かなり不満である」(1.4%)と「やや不満である」(6.4%)を合わせた“不満”との回答は7.8%にとどまっている。

## 2. 居住地域での暮らしやすさの満足度

居住地域での暮らしやすさについての満足度をみると、“満足率”（「かなり満足している」と「まあ満足している」の合計比率）が5割を超えているのは、「①隣近所などのおつきあい」の1項目のみである。一方、“不満率”（「やや不満である」と「かなり不満である」の合計比率）が最も高いのは「⑦病院など医療関係施設」であり、23.5%となっている。また、「⑨障害のある方が安心して暮らせる環境」「⑧高齢者が安心して暮らせる環境」「⑩子どもが安心して暮らせる環境」の3項目の“不満率”も15%前後となっている。

## 3. 暮らしやすさにとって重要なこと

居住地域で安心して暮らしていくために重要なこととしては、「病院など医療関係施設」をあげる人が最も多く、以下、「地域の防犯体制」、「隣近所などのおつきあい」、「高齢者が安心して暮らせる環境」、「子どもが安心して暮らせる環境」の4項目が60%弱で続いている。

## 4. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

毎日の暮らしで感じている悩みや不安は、「家族の健康」(50.0%)と「自分の健康」(48.8%)が上位にあげられている。ついで、「経済的な問題」(34.4%)、「介護の問題」(25.1%)が続いている。

## 5. 悩みや不安の相談相手

悩みや不安の相談相手については、「家族・親戚」(81.5%)が8割強、「知人・友人」(51.7%)が5割強で多数を占めている。

## 6. 隣近所とのつきあい方

### 1) 日頃のつきあい方

隣近所との日頃のつきあい方は、「たまに立ち話をする程度」(36.4%)と「会えばあいさつをかわす程度」(36.1%)が多くなっている。

### 2) 今後希望するつきあい方

今後の希望としては、「困った時には相談したり、助け合ったりしている」(27.2%)と「たまに立ち話をする程度」(26.3%)がやや多いが、「一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度」(22.8%)も2割台で続いており、現在のつきあい方よりも親しい関係を希望している人が多くみられる。

## 7. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと／自分にできること

### 1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと

日常生活が不自由になったときに地域の人にしてほしいことは、「安否確認の声かけ」(59.5%)が最も多くほぼ6割を占めている。ついで、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(39.6%)、「通院の送迎や外出の手助け」(37.6%)、「話し相手や相談相手」(34.4%)が3割台で続いている。

### 2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることとしては、「安否確認の声かけ」(68.2%)が最も多く7割近くを占めている。ついで、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(53.2%)が多く、以下、「通院の送迎や外出の手助け」(39.9%)、「話し相手や相談相手」(37.6%)が続いている。

## 8. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係

### 1) 住民相互の協力関係の必要性

住民相互の協力関係の必要性については、「かなり必要だと思う」は27.2%で約4人に1人強の割合となっている。「まあ必要だと思う」(42.8%)を合わせると70.0%の人が“必要”としている。一方、“必要だと思わない”と回答した人は3.5%となっている。

### 2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと

住民相互の協力関係が“必要”だと回答した人の必要だと思うこととしては、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること」が44.2%で最も多く、ついで、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」、「地域の人が気楽に集まれる場所を作ること」、「自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること」が続いている。

## 9. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲

「地域」と聞いて思い浮かべる範囲は、「町内会・自治会」が39.0%で最も多い。ついで、「地区(小作台、川崎などの区域)」(23.4%)、「市全体」(14.7%)が続いている。

## 10. 災害時における住民間の相互支援

災害時における住民間の相互支援としては、「災害直後の安否確認や声掛け」(79.8%)をあげる人が最も多く、ついで、「災害や避難に関する情報提供」(68.2%)、「避難所などへの移動の支援」(62.4%)、「避難所の運営の協力」(53.8%)が続いている。

## II. 行政と地域住民との関わりについて

### 1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先

行政や福祉サービスに関する情報は、「市広報紙や市の発行するパンフレットから」入手している人が8割強と大多数を占めている。

## 2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係

福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係をみると、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」(50.3%)が最も多く、半数を占めている。

# Ⅲ. 地域活動の参加について

## 1. 地域活動への参加状況

### 1) 参加の有無

地域活動に参加しているかとの質問に対し、「はい」は35.5%、「いいえ」は59.0%であり、参加している人は約3人に1人強の割合となっている。

### 2) 参加している地域活動

地域活動に“参加している”人の参加活動をみると、「自治会・町内会での活動」が74.0%と多数を占めている。ついで、「学校、PTA、子供会等の活動」(25.2%)が2割台で続いている。

### 3) 活動への参加頻度

活動への参加頻度は、「年に数回」(48.0%)が最も多く、半数近くを占めている。

## 2. 地域活動に参加するための条件

地域活動に“参加していない”人の参加のための条件をみると、「時間や収入にゆとりがあること」が52.0%と最も多くなっている。ついで、「ともに活動する仲間や友人がいること」(42.2%)が多く、以下、「わずかな時間(2~3時間)でできること」(30.4%)、「家の近くでできること」(28.4%)、「誰でも簡単にできること」(27.5%)が3割前後で上位にあげられている。

## 3. 今後参加したい地域活動

今後参加したい地域活動は、「ボランティア・NPO・市民活動」(29.5%)、「地縁的な活動」(28.3%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(26.9%)の3つが多くなっているが、一方で、「特に参加するつもりはない」とする人が29.5%となっている。

## 4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度

地域でのボランティア活動やNPOの活動に“期待している”は37.6%、“期待していない”は19.1%であり、「どちらともいえない」とする人が約4割となっている。

## IV. 市の福祉施策や制度・サービスについて

### 1. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況

市の福祉や保健にかかわる相談窓口や相談機関について、「知っており、利用したことがある」との回答が多いのは「④保健センター」であり、4割近くを占めている。

「知っているが利用したことはない」と合わせた“認知率”をみると、「④保健センター」は83.2%、「⑤民生・児童委員」は73.4%、「③社会福祉協議会」は70.5%と比較的高い認知状況となっている。一方、「①地域包括支援センター」と「②子ども家庭支援センター」は「知らない」との回答が多くなっている。

### 2. 最近1年間の福祉サービスの利用状況

#### 1) サービスの利用者

最近1年間に自分自身や家族が福祉サービスを“利用した”との回答は23.9%となっている。

#### 2) 利用したサービスの満足度

利用したサービスについての“満足率”は63.9%と高く、“不満率”は7.2%にとどまっている。

### 3. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ

#### 1) 分かりやすさ

福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさについて、“わかりやすい”との回答は13.3%にとどまり、“わかりにくい”との回答が48.3%となっている。

#### 2) わかりにくいと思う理由

“わかりにくい”と回答した人の理由は、「情報を入手しにくいから」、「情報が少ないから」が50%前後で上位にあげられており、以下、「仕組みが複雑だから」(27.5%)、「説明や情報が専門的だから」(24.6%)が続いている。

### 4. 福祉サービスが利用しやすい環境整備

福祉サービスが利用しやすい環境について、“整っている”との回答は26.6%となっている。“整っていない”との回答は12.6%と少ないが、半数以上の人が「どちらともいえない」としている。

### 5. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと

サービスを利用しやすい環境を整備するために充実すべきこととしては、「わかりやすい情報の提供」(75.1%)が最も多く、ついで、「経済的な負担の軽減」(39.9%)、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」(35.0%)、「障害のある方や高齢者に対する配慮」(32.9%)が3割台で続いている。

## 6. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況

福祉にかかわる制度や言葉（成年後見制度、地域福祉権利擁護事業、小地域ネットワーク事業、ユニバーサルデザイン、ノーマライゼーションの5項目）の認知状況をみると、「成年後見制度」は「知らない」とする人は37.0%にとどまっているが、他の4項目は「知らない」との回答がほぼ6割を超えている。

## 7. 福祉に関する講習や研修などの参加意向

福祉に関する講習や研修に“参加したい”とする人は35.6%であり、3人に1人強の割合となっている。「参加したいと思わない」は17.3%にとどまり、「わからない」（43.6%）とする人が多くなっている。

## 8. 今後優先して取り組むべき施策

今後優先して取り組むべき施策としては、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」、「福祉や保健に関する情報提供や案内の充実」、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」、「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」、「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」の5項目が25%以上で上位にあげられているが、全体として多様な要望があがっている。

## 9. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと

高齢者の住みやすいまちづくりに重要なことは、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する」、「福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実させる」、「高齢者の自立支援・健康づくりを推進する」、「高齢者の生きがいを高める事業を拡充する」、「高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」の5項目が25%以上で上位にあげられているが、全般的に多様なニーズがみられる。

## 10. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なことについても全体として多岐にわたる要望がみられるが、「障害がある方の就労機会を拡充する」、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する」、「障害がある方の自立支援・健康づくりを推進する」が3割台で上位にあげられている。ついで、「障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する」「障害がある方の就労機会を拡充する」から「思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する」までの5項目が2割台で続いている。

## 11. 子どもを健やかに育てるために重要なこと

子どもを健やかに育てるために重要なこととしては、「子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する」（42.8%）が最も多く、4割を超えている。ついで、「子育てと仕事を両立できる環境を整備する」（31.5%）が3割台で続いているが、全般的にニーズが多様化している。





調査結果からみた課題



## 課題1

### 地域での支え合い活動の推進

羽村市における現状での隣近所とのつきあいをみると、「会えばあいさつをかわす程度」「たまに立ち話をする程度」といったさらりとした近隣関係にとどまっているが、今後希望する近所づきあいとしては、「一緒にお茶を飲んだり、留守の時に声をかけあう程度」や「困った時には相談したり、助け合ったりしている」というかなり親密な近所づきあいを望む人が増えている。こうした傾向は前回調査から変わっていない。

日常生活が不自由になったときに地域の人にしてほしいこととして、「安否確認の声かけ」をはじめ、「具合が良くない時に、病院や市役所に連絡する」「通院の送迎や外出の手助け」「話し相手や相談相手」を望んでいる人も多くみられる。

一方、日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることとしても、「安否確認の声かけ」をあげる人が7割近くを占め、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」、「通院の送迎や外出の手助け」、「話し相手や相談相手」ができるとする人も多い。

また、災害時における住民間の相互支援として必要なことについても、「災害直後の安否確認や声掛け」をあげる人が8割を占め、「災害や避難に関する情報提供」、「避難所などへの移動の支援」、「避難所の運営の協力」についても半数以上の人があげている

さらに、住民相互の協力関係が“必要である”と認識している人は70.0%と多数を占めており、見守り活動などをはじめとする地域での支え合い活動の推進が求められている。住民相互の協力関係が“必要”だと回答した人の必要だと思うこととしては、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること」が最も多く、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」、「地域の人が気楽に集まれる場所を作ること」、「自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること」が続いており、住民間の相互交流の促進のための機会や場所の確保も課題となる。

## 課題2

### 市民との協働関係の構築

福祉サービスを充実させていくうえで行政と地域住民との関係のあり方については「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」との意見が半数を占め、「行政の手の届きにくい課題については住民が協力していくべきである」との意見も2割近くみられるなど、行政との協働関係づくりが必要とする市民が多数を占めている。こうした結果は前回調査と変わっていない。

今後も、市民が行政に主体的に参加する市民参画や市民の自主的な活動を進めるとともに、地域での支え合い活動の推進に向けて、市民とのパートナーシップによる協働関係づくりが求められている。

## 課題3

### 多様な福祉・保健・医療ニーズへの対応

居住地域での暮らしやすさにおける“満足率”は前回調査と比較すると向上しているが、“不満率”が高い項目をみると、「病院など医療関係施設」が最も高く、以下、「障害のある方が安心して暮らせる環境」「高齢者が安心して暮らせる環境」「子どもが安心して暮らせる環境」に対する“不満率”も少なくない。

また、今後優先して取り組むべき施策としては、「健康診断・がん検診などの保健医療サービス

の充実」、「福祉や保健に関する情報提供や案内の充実」、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」、「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」、「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」が上位にあげられているが、全体として多様な要望があがっている。このように、市民のニーズは多岐にわたっており、多様化する市民ニーズにどう対応していくかが大きな課題となっている。

#### 課題4 情報提供活動の充実

市の福祉や保健にかかわる相談窓口や相談機関についての認知状況をみると、「保健センター」「民生・児童委員」「社会福祉協議会」は7～8割強の高い認知度があるが、「地域包括支援センター」や「子ども家庭支援センター」については前回調査から認知度は向上しているものの、まだ半数を下回っている。また、「成年後見制度」など福祉にかかわる新たな制度や言葉についても「成年後見制度」は6割弱と大きく向上したが、他の制度や言葉については「知らない」との回答が半数を超えている。

さらに、福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みについては“わかりにくい”との回答が多く、前回調査と大きな変化はみられない。福祉サービスを利用しやすい環境にするためには「わかりやすい情報の提供」を望む人が多数を占めており、より一層の情報提供活動の充実が求められる。

#### 課題5 相談体制の充実

福祉サービスが利用しやすい環境について、“整っている”との回答は26.6%にとどまり、前回調査と変化はみられない。サービスを利用しやすい環境を整備するために充実すべきこととして、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」(35.0%)、「障害のある方や高齢者に対する配慮」(32.9%)をあげる人も多く、また、今後優先して取り組むべき施策として「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」をあげる人も少なくない。今後、情報提供の充実と並んで相談体制の充実も求められる。

#### 課題6 防犯・防災など安全性確保に向けた取り組みの充実

居住地域での暮らしやすさにおける評価項目としての「地域の防犯体制」や「地域の防災体制」の満足度は向上しているが、“満足率”は半数を下回っている。さらに、地域で安心して暮らすために重要なこととして、「地域の防犯体制」、「地域の防災体制」をあげる人も多く、防犯・防災など安全性確保に向けた取り組みの充実も求められる。

#### 課題7 健康の維持増進に向けた取り組みの充実

市民が毎日の暮らしで感じている悩みや不安として、「自分の健康」と「家族の健康」をあげる人が多くなっており、前回調査と同様の結果となっている。市民の健康に対する関心は高いものとなっており、市民の健康の維持増進に向けた取り組みの充実が求められる。

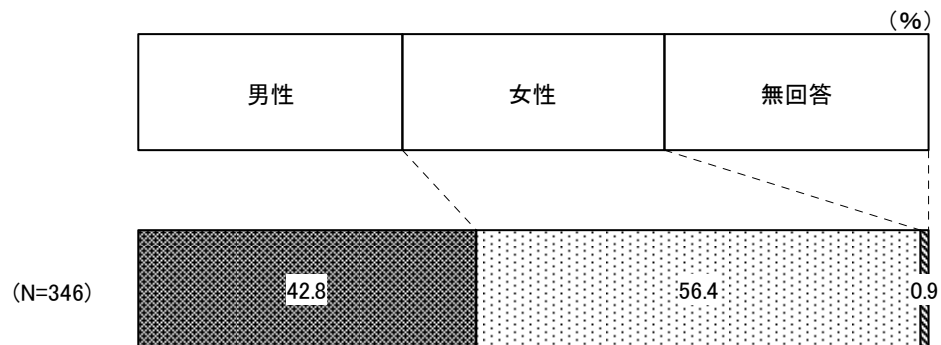
## 調査結果の詳細



## I. 回答者の属性

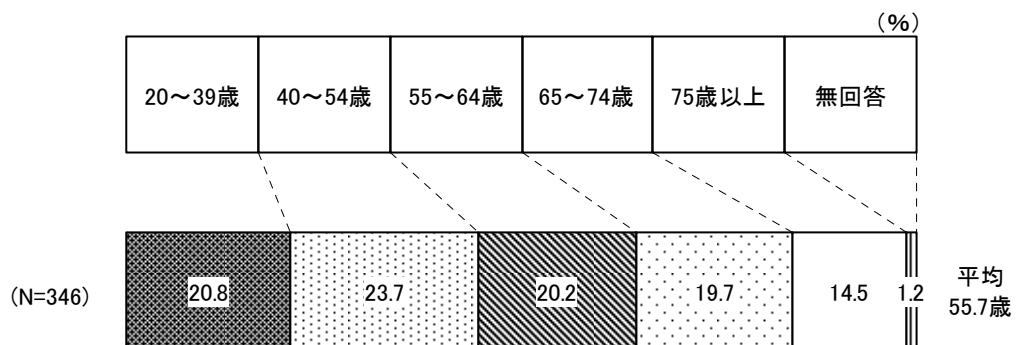
### 1. 性別

回答者は、「男性」(42.8%)に対し、「女性」(56.4%)がやや多くなっている。



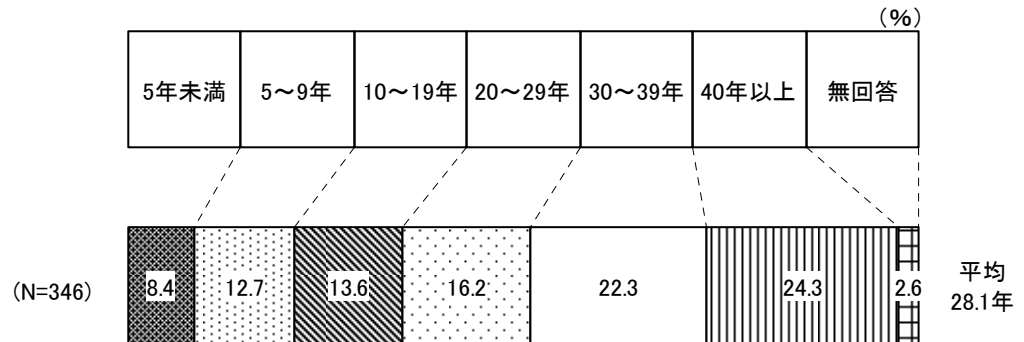
### 2. 年齢

回答者の年齢は、「40～54歳」が23.7%で最も多いが、「20～39歳」「55～64歳」「65～74歳」も2割前後と分散している。平均年齢は55.7歳となっている。



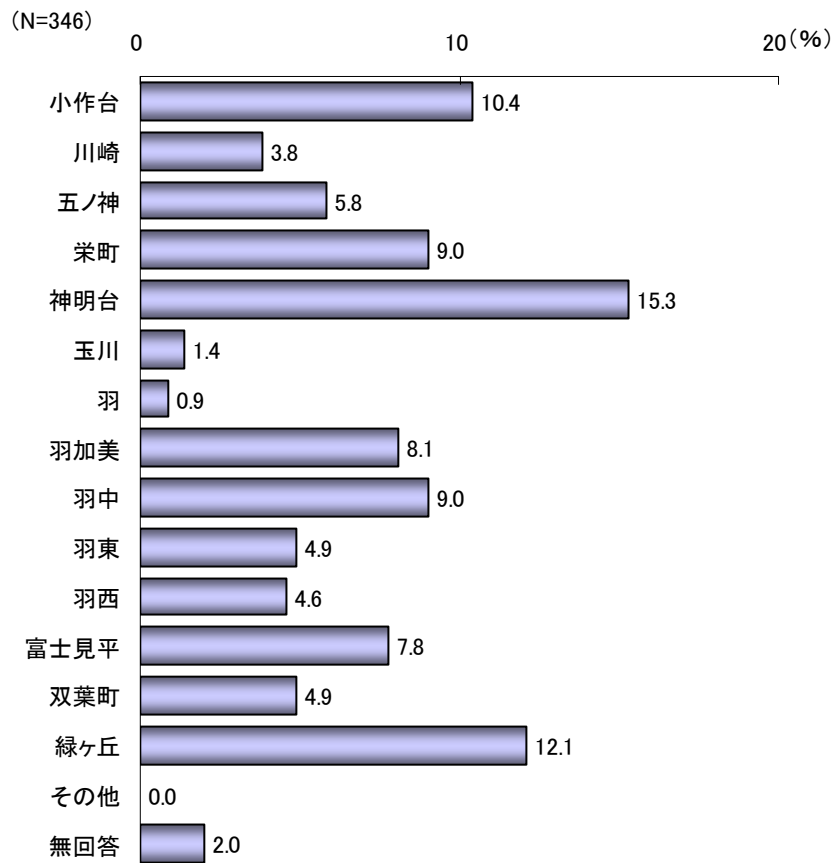
### 3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」(62.8%)が多数を占めている。平均居住年数は28.1年となっている。



### 4. 居住地区

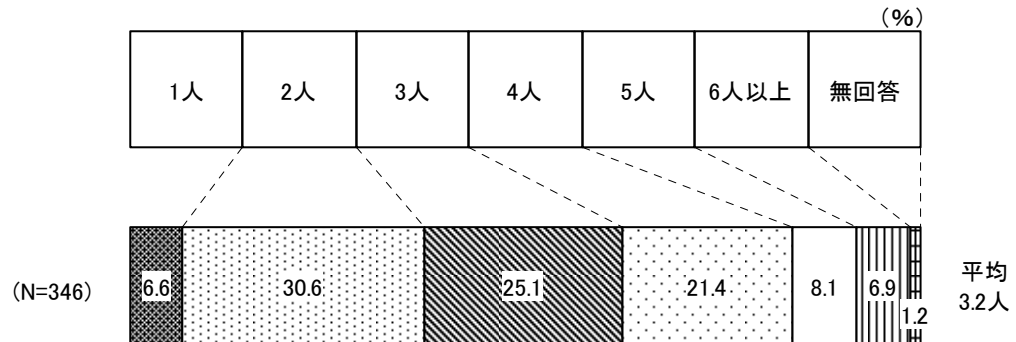
居住地区は、「神明台」が15.3%で最も多く、ついで「緑ヶ丘」(12.1%)、「小作台」(10.4%)が10%台が続いている。





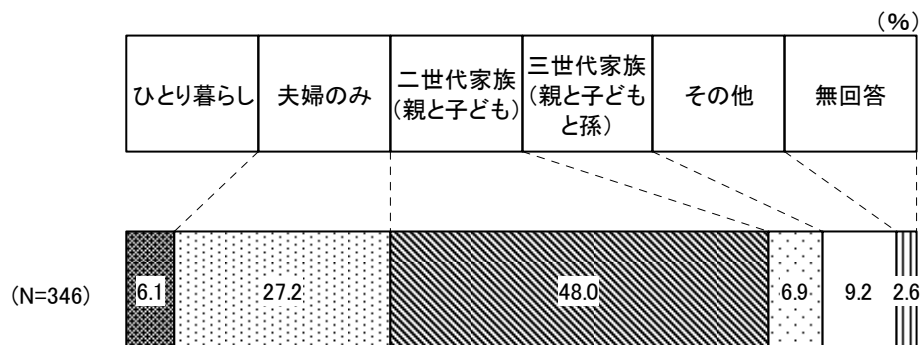
## 5. 家族人数

家族人数は、「2人」(30.6%)が最も多い。ついで、「3人」(25.1%)、「4人」(21.4%)が続いている。「1人」は6.6%である。平均家族人数は3.2人となっている。



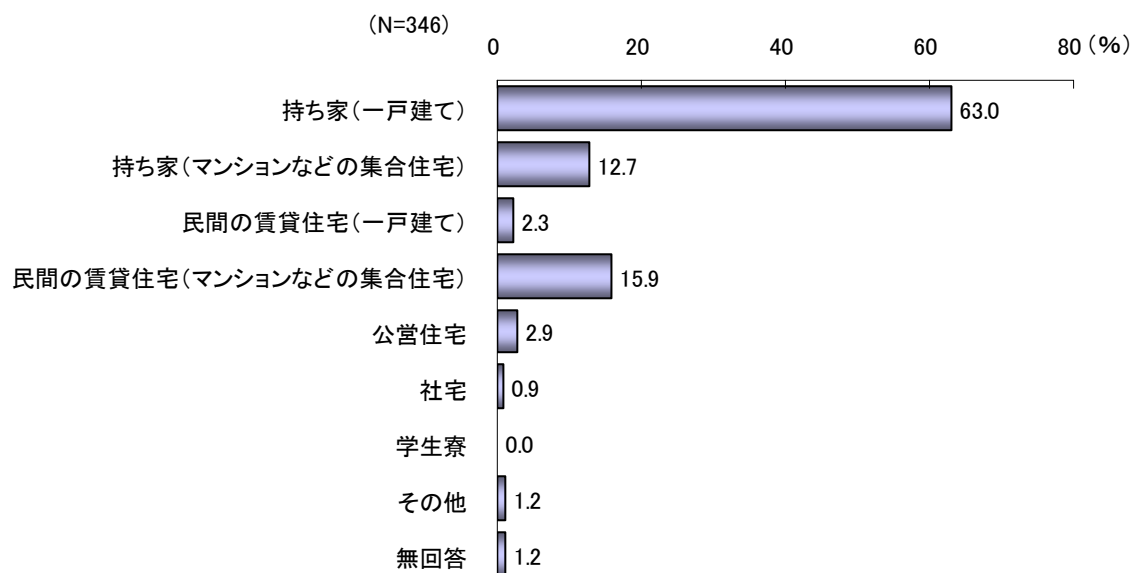
## 6. 家族構成

家族構成は、「二世世代家族」(48.0%)が最も多くほぼ半数を占めている。ついで「夫婦のみ」が27.2%が続いている。



## 7. 住居形態

住居形態は、「持ち家（一戸建て）」（63.0%）が多数を占めている。ついで、「民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）」（15.9%）、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」（12.7%）が1割台となっている。

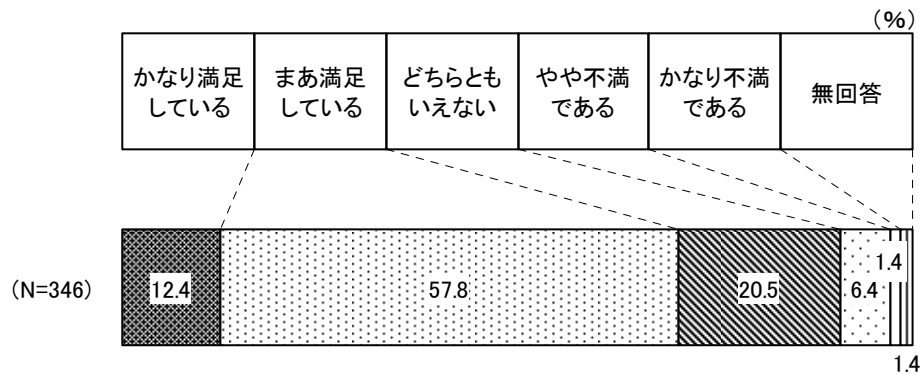


## Ⅱ. 地域での暮らしについて

### 1. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度

居住地域での総合的な暮らしやすさについては、「かなり満足している」(12.4%)、「まあ満足している」(57.8%)を合わせると70.2%の人が“満足”としている。一方、「かなり不満である」(1.4%)と「やや不満である」(6.4%)を合わせた“不満”との回答は7.8%にとどまっている。

問2 あなたが現在お住まいの地域の暮らしやすさを総合的に考えると、どの程度満足していますか。(〇はひとつ)



### <属性別比較>

属性別にみると、「65～74歳」、「75歳以上」で「かなり満足している」との回答が2～3割と多くなっている。「55～64歳」では「どちらともいえない」という回答がやや多くなっている。

居住年数が「19年以下」の人では、「かなり満足している」との回答が少なく、「まあ満足している」との回答がやや多くなっている。

地区別にみると、「羽加美・羽西・羽中」地区では「かなり満足している」との回答が2割強多くなっている。一方、「富士見平・双葉町」地区では2.3%と少なく「どちらともいえない」とする人が多くなっている。

	合計	かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である	無回答
【全体】	346	12.4	57.8	20.5	6.4	1.4	1.4
【年齢】							
20～39歳	72	8.3	62.5	20.8	4.2	2.8	1.4
40～54歳	82	▼ 3.7	△ 64.6	19.5	8.5	2.4	1.2
55～64歳	70	8.6	54.3	△ 30.0	5.7	0.0	1.4
65～74歳	68	△ 19.1	55.9	16.2	4.4	1.5	2.9
75歳以上	50	☆ 28.0	▼ 50.0	▼ 14.0	8.0	0.0	0.0
【居住年数】							
9年以下	73	▼ 2.7	△ 63.0	23.3	9.6	1.4	0.0
10～19年	47	▼ 6.4	△ 66.0	△ 25.5	▼ 0.0	2.1	0.0
20年以上	217	17.1	55.3	18.4	6.0	1.4	1.8
【居住地区】							
小作台・栄町	67	9.0	56.7	22.4	6.0	3.0	3.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	13.2	▼ 52.6	23.7	10.5	0.0	0.0
神明台	53	11.3	60.4	22.6	3.8	0.0	1.9
富士見平・双葉町	44	● 2.3	61.4	△ 29.5	4.5	2.3	0.0
羽加美・羽西・羽中	75	△ 21.3	56.0	▼ 14.7	5.3	1.3	1.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	12.9	61.3	▼ 14.5	8.1	1.6	1.6

## <前回比較>

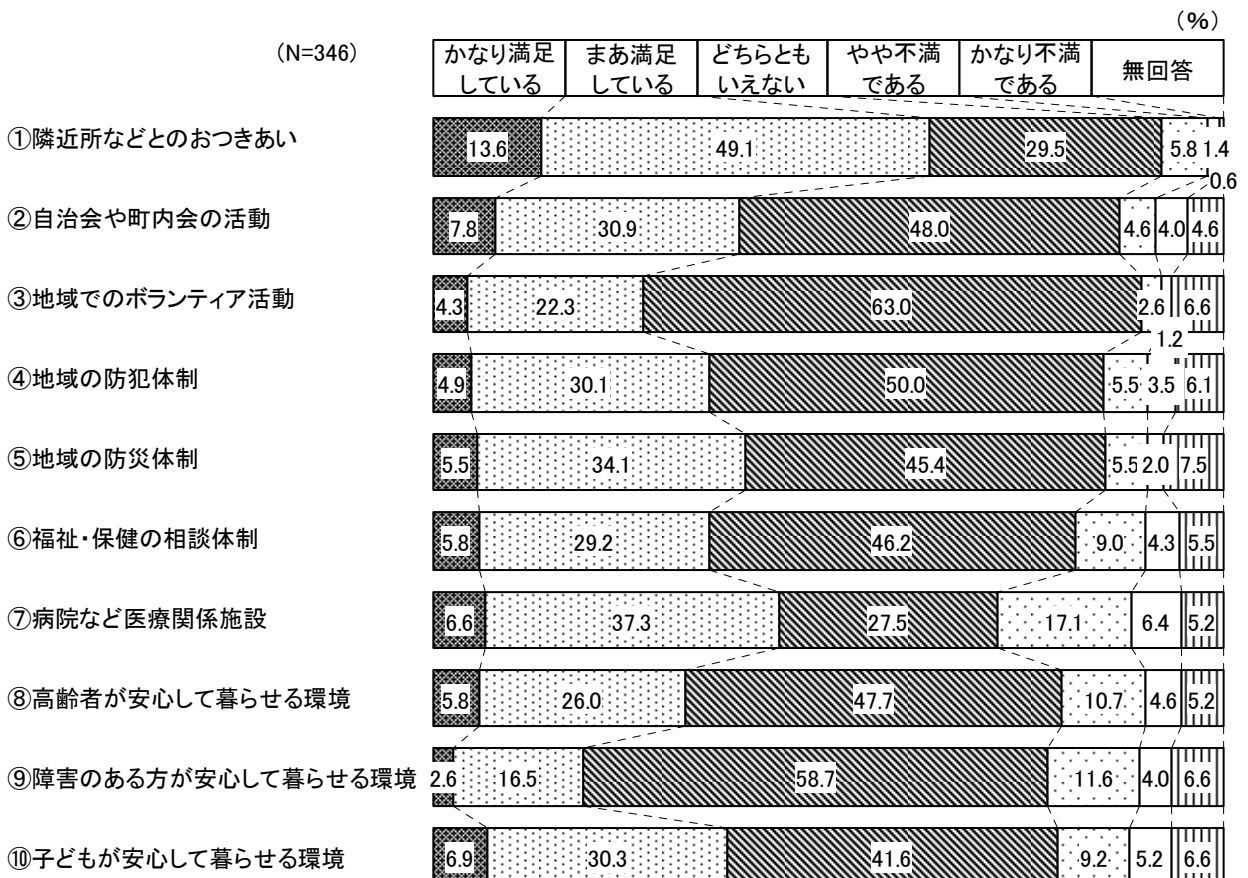
前回調査と比較すると、“満足率”が9.3ポイント増加している。

		(%)					
	合計	かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である	無回答
今回調査	346	12.4	57.8	20.5	6.4	1.4	1.4
前回調査	486	8.2	52.7	23.7	9.5	2.5	3.5

## 2. 居住地域での暮らしやすさの満足度

居住地域での暮らしやすさについての満足度をみると、“満足率”（「かなり満足している」と「まあ満足している」の合計比率）が5割を超えているのは、「①隣近所などのおつきあい」の1項目のみである。一方、“不満率”（「やや不満である」と「かなり不満である」の合計比率）が最も高いのは「⑦病院など医療関係施設」であり、23.5%となっている。また、「⑨障害のある方が安心して暮らせる環境」「⑩高齢者が安心して暮らせる環境」「⑩子どもが安心して暮らせる環境」の3項目の“不満率”も15%前後となっている。

問1 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。（項目ごとに○はひとつ）



## <属性別満足率>

属性別に“満足率”をみたのが以下の表である。

年齢別にみると、「20～39歳」では、全体よりも“満足率”が低い項目が目立っている。全般的には、年齢が高くなるにつれて“満足率”も高くなる項目が多くなっている。

居住年数別にみると、「9年以下」では全項目の“満足率”は全体より低くなっている。

地区別では、「富士見平・双葉町」地区や「神明台」地区の“満足率”が押しなべて低くなっている。

暮らしやすさの満足度別にみると、当然ながら“満足している”人の各項目の“満足率”は高くなっている。

(%)

	合計	①隣近所などのおつきあい	②自治会や町内会の活動	③地域でのボランティア活動	④地域の防犯体制	⑤地域の防災体制	⑥福祉・保健の相談体制	⑦病院など医療関係施設	⑧高齢者が安心して暮らせる環境	⑨障害のある方が安心して暮らせる環境	⑩子どもが安心して暮らせる環境
<b>【全体】</b>	346	62.7	38.7	26.6	35.0	39.6	35.0	43.9	31.8	19.1	37.3
<b>【年齢】</b>											
20～39歳	72	58.3	▼31.9	▼20.8	▼27.8	▼33.3	33.3	▼36.1	●19.4	▼11.1	38.9
40～54歳	82	●52.4	▼29.3	▼18.3	31.7	40.2	31.7	43.9	30.5	19.5	32.9
55～64歳	70	64.3	35.7	25.7	32.9	37.1	32.9	▼34.3	▼25.7	15.7	▼30.0
65～74歳	68	△72.1	☆57.4	○41.2	○45.6	△47.1	35.3	△52.9	△38.2	19.1	41.2
75歳以上	50	△72.0	42.0	30.0	△40.0	40.0	△44.0	○58.0	☆52.0	○34.0	○48.0
<b>【居住年数】</b>											
9年以下	73	★46.6	★21.9	▼19.2	▼26.0	▼32.9	▼26.0	▼38.4	●19.2	▼9.6	▼31.5
10～19年	47	▼55.3	42.6	27.7	38.3	42.6	▼29.8	▼38.3	29.8	14.9	40.4
20年以上	217	△69.6	△43.8	29.0	37.8	41.0	39.2	47.5	36.4	23.0	39.6
<b>【居住地区】</b>											
小作台・栄町	67	61.2	▼31.3	23.9	▼26.9	▼32.8	34.3	47.8	31.3	14.9	38.8
川崎・玉川・羽・羽東	38	△71.1	☆60.5	△31.6	○47.4	○50.0	34.2	42.1	▼26.3	23.7	36.8
神明台	53	58.5	●28.3	▼17.0	▼26.4	▼32.1	32.1	43.4	▼24.5	18.9	▼28.3
富士見平・双葉町	44	●50.0	▼31.8	27.3	▼29.5	●29.5	●20.5	▼38.6	★13.6	▼11.4	▼29.5
羽加美・羽西・羽中	75	△72.0	○50.7	△32.0	△44.0	○52.0	△40.0	48.0	○42.7	△26.7	△46.7
五ノ神・緑ヶ丘	62	61.3	▼30.6	29.0	35.5	38.7	△43.5	43.5	○43.5	16.1	40.3
<b>【問2 暮らしやすさの満足度】</b>											
満足している	243	○73.7	△48.6	△34.2	△42.4	△48.6	△44.9	○55.6	○42.8	△25.5	△46.5
満足していない	98	★35.7	★15.3	★9.2	★16.3	★17.3	★11.2	★16.3	★6.1	★4.1	★14.3

※数字は「かなり満足している」+「まあ満足している」の合計比率

## <前回比較>

前回調査と比較すると、すべての項目で“満足率”が増加している。

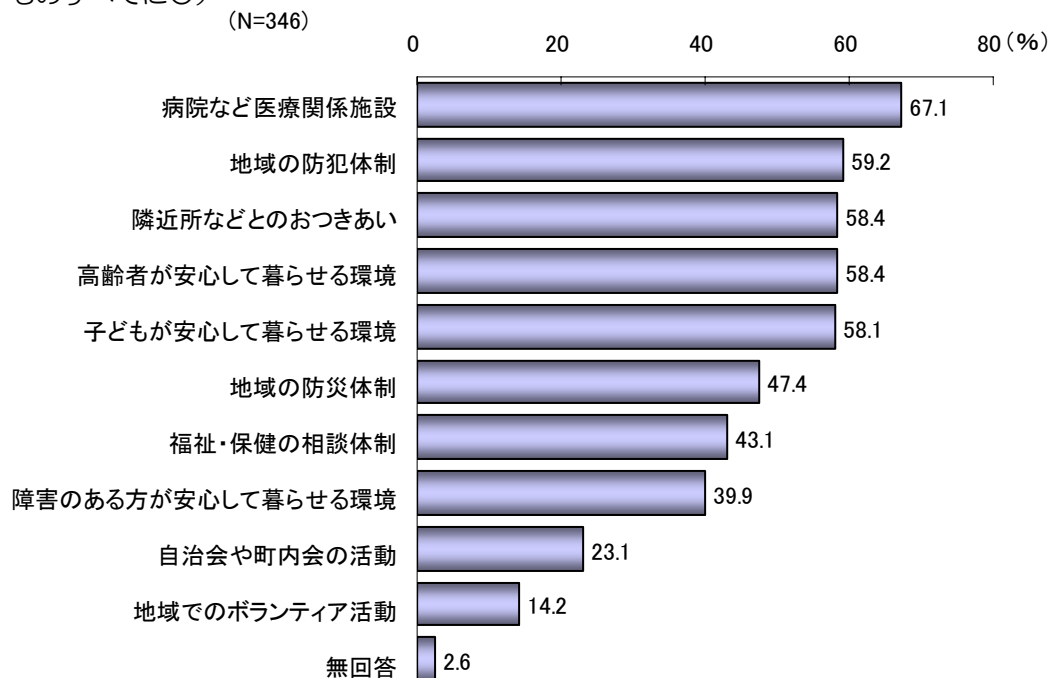
						(%)
	合計	①隣近所などのおつきあい	②自治会や町内会の活動	③地域でのボランティア活動	④地域の防犯体制	⑤地域の防災体制
今回調査	346	62.7	38.7	26.6	35.0	39.6
前回調査	486	56.3	36.5	21.0	27.1	33.3
	合計	⑥福祉・保健の相談体制	⑦病院など医療関係施設	⑧高齢者が安心して暮らせる環境	⑨障害のある方が安心して暮らせる環境	⑩子どもが安心して暮らせる環境
今回調査	346	35.0	43.9	31.8	19.1	37.3
前回調査	486	28.4	30.3	21.4	10.7	26.3

※数字は「かなり満足している」+「まあ満足している」の合計比率

### 3. 暮らしやすさにとって重要なこと

居住地域で安心して暮らしていくために重要なこととしては、「病院など医療関係施設」をあげる人が最も多く、以下、「地域の防犯体制」、「隣近所などのおつきあい」、「高齢者が安心して暮らせる環境」、「子どもが安心して暮らせる環境」の4項目が60%弱で続いている。

問 1-1. 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



<属性別比較>

年齢別にみると、「20～39歳」では「子どもが安心して暮らせる環境」、「75歳以上」では「隣近所などのおつきあい」、「自治会や町内会の活動」をあげる人が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、「富士見平・双葉町」地区で「隣近所などのおつきあい」をあげる人が少なくなっている。

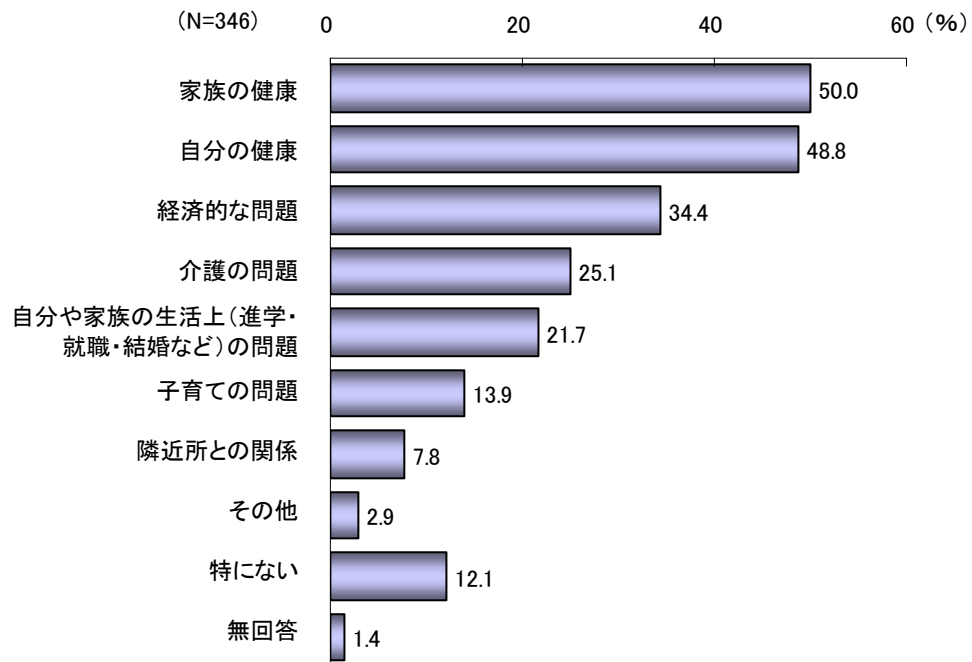
(%)

	合計	病院など医療関係施設	地域の防犯体制	隣近所などのおつきあい	高齢者が安心して暮らせる環境	子どもが安心して暮らせる環境	地域の防災体制	福祉・保健の相談体制	障害のある方が安心して暮らせる環境	自治会や町内会の活動	地域でのボランティア活動	無回答
<b>【全体】</b>	346	67.1	59.2	58.4	58.4	58.1	47.4	43.1	39.9	23.1	14.2	2.6
<b>【年齢】</b>												
20～39歳	72	63.9	▼ 54.2	58.3	★ 43.1	☆ 79.2	44.4	43.1	38.9	▼ 16.7	▼ 8.3	2.8
40～54歳	82	△ 76.8	62.2	● 45.1	54.9	58.5	50.0	41.5	△ 47.6	▼ 13.4	12.2	0.0
55～64歳	70	68.6	60.0	61.4	○ 70.0	54.3	42.9	▼ 37.1	▼ 31.4	21.4	11.4	2.9
65～74歳	68	63.2	60.3	60.3	60.3	● 45.6	51.5	47.1	38.2	26.5	16.2	4.4
75歳以上	50	● 56.0	60.0	☆ 74.0	△ 66.0	● 46.0	48.0	46.0	40.0	☆ 46.0	○ 26.0	4.0
<b>【居住年数】</b>												
9年以下	73	68.5	△ 68.5	● 46.6	▼ 53.4	○ 71.2	50.7	46.6	△ 45.2	▼ 15.1	11.0	1.4
10～19年	47	▼ 57.4	59.6	55.3	● 46.8	61.7	42.6	▼ 34.0	40.4	23.4	14.9	4.3
20年以上	217	68.7	56.7	△ 63.6	63.1	▼ 53.0	47.9	44.2	37.8	25.8	14.7	1.8
<b>【居住地区】</b>												
小作台・栄町	67	65.7	61.2	59.7	62.7	▼ 50.7	49.3	47.8	40.3	20.9	16.4	0.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	63.2	▼ 52.6	△ 65.8	63.2	▼ 52.6	▼ 42.1	44.7	▼ 34.2	△ 31.6	▼ 7.9	△ 7.9
神明台	53	66.0	56.6	58.5	▼ 50.9	58.5	47.2	47.2	35.8	▼ 13.2	▼ 5.7	3.8
富士見平・双葉町	44	63.6	△ 68.2	★ 38.6	△ 63.6	△ 63.6	43.2	38.6	40.9	△ 29.5	▼ 9.1	0.0
羽加美・羽西・羽中	75	▼ 60.0	61.3	62.7	60.0	60.0	△ 54.7	▼ 34.7	△ 45.3	26.7	△ 20.0	4.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	☆ 82.3	58.1	59.7	54.8	61.3	43.5	45.2	40.3	21.0	△ 21.0	1.6
<b>【問2 暮らしやすさの満足度】</b>												
満足している	243	67.1	56.8	△ 63.4	58.8	58.4	45.7	43.2	42.0	26.3	15.2	1.6
満足していない	98	67.3	△ 64.3	● 46.9	57.1	58.2	51.0	43.9	▼ 34.7	▼ 15.3	10.2	4.1

#### 4. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

毎日の暮らしで感じている悩みや不安は、「家族の健康」(50.0%)と「自分の健康」(48.8%)が上位にあげられている。ついで、「経済的な問題」(34.4%)、「介護の問題」(25.1%)が続いている。

問3 あなたは、毎日の暮らしのなかで、どのような悩みや不安を感じていますか。(〇は3つまで)



#### <属性別比較>

年齢別にみると、「20～39歳」では「子育ての問題」、「65歳以上」では「自分の健康」や「介護の問題」が多くなっている。

	合計	家族の健康	自分の健康	経済的な問題	介護の問題	自分や家族の生活上(進学・就職・結婚など)の問題	子育ての問題	隣近所との関係	その他	特にない	無回答
【全体】	346	50.0	48.8	34.4	25.1	21.7	13.9	7.8	2.9	12.1	1.4
【年齢】											
20～39歳	72	▼ 40.3	★ 23.6	33.3	● 12.5	26.4	☆ 38.9	8.3	4.2	11.1	4.2
40～54歳	82	▼ 42.7	43.9	32.9	▼ 15.9	△ 26.8	△ 20.7	8.5	1.2	14.6	0.0
55～64歳	70	54.3	45.7	△ 41.4	22.9	25.7	● 1.4	8.6	5.7	12.9	0.0
65～74歳	68	○ 60.3	☆ 69.1	36.8	○ 36.8	▼ 16.2	● 2.9	4.4	1.5	7.4	1.5
75歳以上	50	54.0	☆ 68.0	● 24.0	☆ 48.0	● 10.0	● 0.0	8.0	0.0	16.0	2.0



## <前回比較>

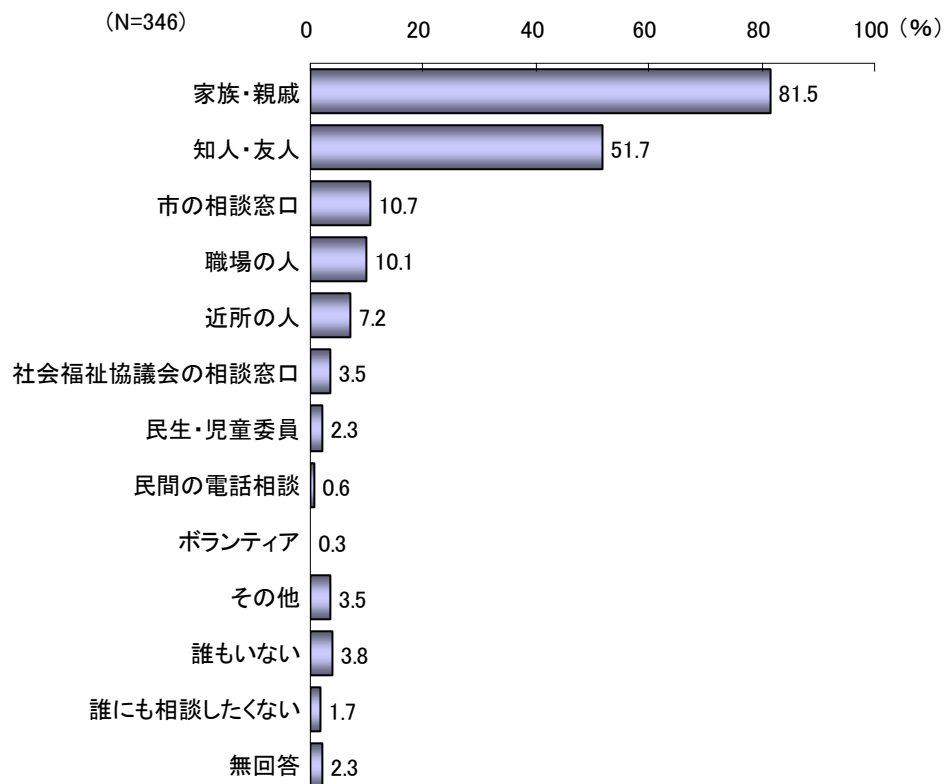
前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、「家族の健康」や「自分の健康」をあげる人がやや増加している。

		家族の健康	自分の健康	経済的な問題	介護の問題	自分や家族の生活上 (進学・就職・結婚など)の問題	(%)
	合計						
今回調査	346	50.0	48.8	34.4	25.1	21.7	
前回調査	486	42.6	43.6	32.3	29.2	22.4	
	合計	子育ての問題	隣近所との関係	その他	特になし	無回答	
今回調査	346	13.9	7.8	2.9	12.1	1.4	
前回調査	486	11.1	9.1	4.3	11.5	1.6	

## 5. 悩みや不安の相談相手

悩みや不安の相談相手については、「家族・親戚」(81.5%)が8割強、「知人・友人」(51.7%)が5割強で多数を占めている。

問4 悩みや不安がある時には、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)



## ＜属性別比較＞

「知人・友人」や「職場の人」は“20～54歳”で多くなっている。「75歳以上」では、「社会福祉協議会の相談窓口」や「民生・児童委員」が他の年齢層に比べやや多くなっている。

	合計	家族・親戚	知人・友人	市の相談窓口	職場の人	近所の人	社会福祉協議会の相談窓口	民生・児童委員	民間の電話相談	ボランティア	その他	誰もいない	誰にも相談したくない	無回答
<b>【全体】</b>	346	81.5	51.7	10.7	10.1	7.2	3.5	2.3	0.6	0.3	3.5	3.8	1.7	2.3
<b>【年齢】</b>														
20～39歳	72	81.9	☆ 69.4	6.9	△ 19.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.4	1.4	2.8
40～54歳	82	▼ 74.4	○ 63.4	8.5	○ 22.0	4.9	0.0	0.0	1.2	1.2	4.9	4.9	1.2	2.4
55～64歳	70	78.6	48.6	8.6	▼ 1.4	▼ 1.4	4.3	2.9	1.4	0.0	2.9	4.3	2.9	2.9
65～74歳	68	△ 86.8	● 41.2	△ 16.2	▼ 2.9	△ 13.2	5.9	1.5	0.0	0.0	2.9	4.4	1.5	1.5
75歳以上	50	△ 88.0	★ 22.0	12.0	● 0.0	10.0	△ 10.0	△ 10.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	2.0

## ＜前回比較＞

前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、「市の相談窓口」がやや増加している。

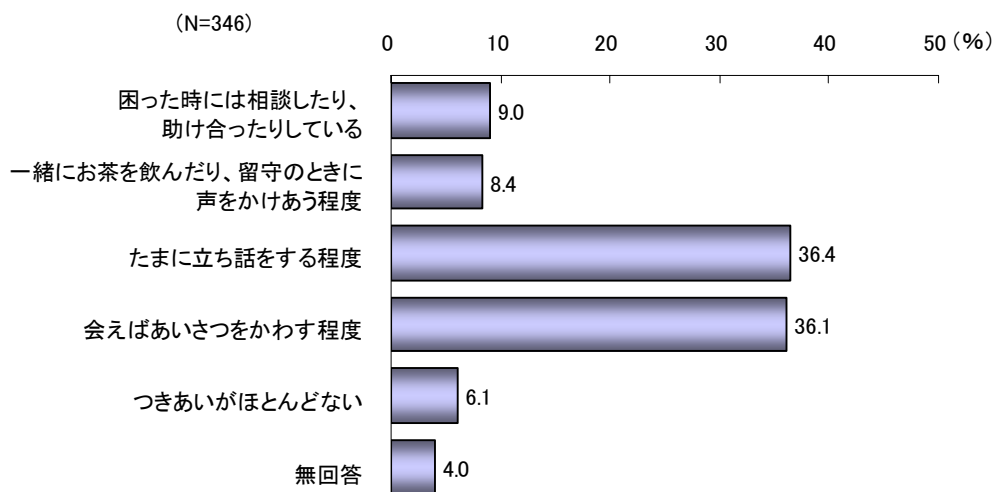
	合計	家族・親戚	知人・友人	市の相談窓口	職場の人	近所の人	社会福祉協議会の相談窓口	民生・児童委員
<b>今回調査</b>	346	81.5	51.7	10.7	10.1	7.2	3.5	2.3
<b>前回調査</b>	486	75.5	49.6	5.6	10.3	6.8	1.4	1.0
	合計	民間の電話相談	ボランティア	その他	誰もいない	誰にも相談したくない	無回答	
<b>今回調査</b>	346	0.6	0.3	3.5	3.8	1.7	2.3	
<b>前回調査</b>	486	0.8	0.4	3.9	4.7	2.9	2.7	

## 6. 隣近所とのつきあい方

### 1) 日頃のつきあい方

隣近所との日頃のつきあい方は、「たまに立ち話をする程度」(36.4%)と「会えばあいさつをかわす程度」(36.1%)が多くなっている。

問5 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。(○はひとつ)



## <属性別比較>

「困った時には相談したり、助け合ったりしている」との回答は、「75歳以上」や居住年数「10～19年」で多くなっている。一方、「会えばあいさつをかわす程度」は「20～39歳」で51.4%と半数を超えており、居住年数「9年以下」でも多くなっている。

	合計	困った時には相談したり、助け合ったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
							(%)
【全体】	346	9.0	8.4	36.4	36.1	6.1	4.0
【性別】							
男性	148	7.4	7.4	33.8	△ 41.9	5.4	4.1
女性	195	10.3	9.2	37.9	31.8	6.7	4.1
【年齢】							
20～39歳	72	5.6	▼ 0.0	31.9	☆ 51.4	9.7	1.4
40～54歳	82	7.3	7.3	● 25.6	△ 43.9	11.0	4.9
55～64歳	70	4.3	11.4	☆ 51.4	31.4	1.4	0.0
65～74歳	68	11.8	△ 14.7	38.2	● 22.1	4.4	8.8
75歳以上	50	○ 20.0	10.0	38.0	● 26.0	2.0	4.0
【居住年数】							
9年以下	73	▼ 1.4	▼ 2.7	▼ 28.8	☆ 52.1	△ 13.7	1.4
10～19年	47	△ 17.0	6.4	▼ 27.7	40.4	2.1	6.4
20年以上	217	10.1	11.1	△ 41.5	▼ 29.0	4.6	3.7
【居住地区】							
小作台・栄町	67	11.9	4.5	△ 41.8	31.3	9.0	1.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	7.9	7.9	○ 50.0	▼ 26.3	▼ 0.0	7.9
神明台	53	7.5	5.7	35.8	39.6	9.4	1.9
富士見平・双葉町	44	6.8	11.4	★ 18.2	○ 50.0	6.8	6.8
羽加美・羽西・羽中	75	13.3	12.0	40.0	▼ 26.7	4.0	4.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	4.8	9.7	32.3	△ 43.5	6.5	3.2

## <前回比較>

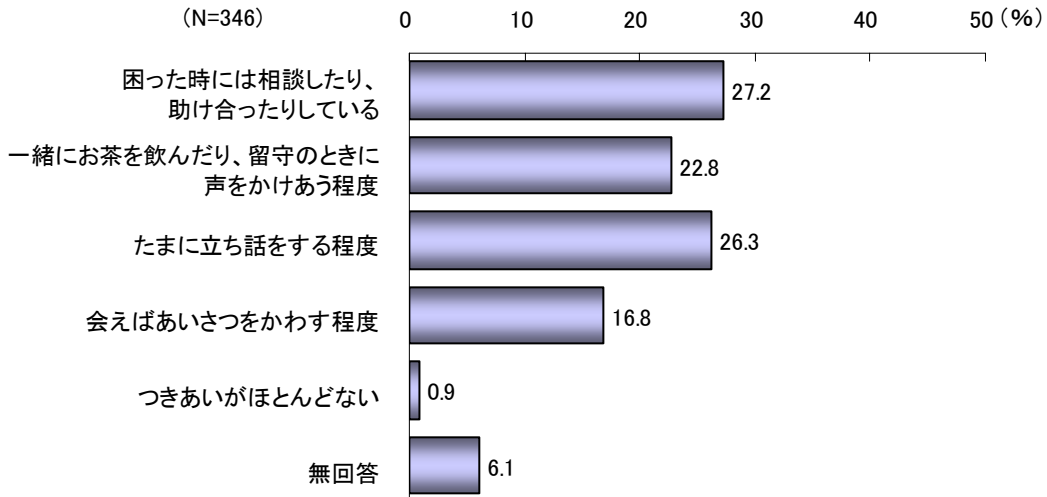
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

	合計	困った時には相談したり、助け合ったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
							(%)
今回調査	346	9.0	8.4	36.4	36.1	6.1	4.0
前回調査	486	10.5	8.8	33.3	37.2	8.2	1.9

## 2) 今後希望するつきあい方

今後の希望としては、「困った時には相談したり、助け合ったりしている」(27.2%)と「たまに立ち話をする程度」(26.3%)がやや多いが、「一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度」(22.8%)も2割台で続いており、現在のつきあい方よりも親しい関係を希望している人が多くみられる。

問 5-1 今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。問5の選択肢の番号を下の口に記入してください。(選択はひとつ)



### <属性別比較>

性別による大きな差はみられないが、「20～39歳」や居住年数「9年以下」では「会えばあいさつをかわす程度」「たまに立ち話をする程度」を希望する人がやや多くなっている。

	合計	困った時には相談したり、助け合ったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
【全体】	346	27.2	22.8	26.3	16.8	0.9	6.1
【性別】							
男性	148	24.3	22.3	24.3	19.6	0.7	8.8
女性	195	29.2	23.6	27.7	14.9	1.0	3.6
【年齢】							
20～39歳	72	23.6	▼ 16.7	△ 33.3	△ 23.6	0.0	2.8
40～54歳	82	25.6	23.2	26.8	19.5	1.2	3.7
55～64歳	70	● 17.1	○ 35.7	30.0	14.3	0.0	2.9
65～74歳	68	△ 32.4	23.5	23.5	▼ 8.8	1.5	10.3
75歳以上	50	○ 40.0	▼ 14.0	● 12.0	18.0	2.0	△ 14.0
【居住年数】							
9年以下	73	● 16.4	23.3	△ 31.5	△ 26.0	1.4	1.4
10～19年	47	25.5	23.4	25.5	19.1	0.0	6.4
20年以上	217	31.3	23.0	24.9	12.9	0.9	6.9
【居住地区】							
小作台・栄町	67	22.4	26.9	22.4	20.9	0.0	7.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	▼ 18.4	23.7	○ 39.5	▼ 10.5	2.6	5.3
神明台	53	32.1	24.5	24.5	15.1	1.9	1.9
富士見平・双葉町	44	22.7	18.2	27.3	△ 25.0	0.0	6.8
羽加美・羽西・羽中	75	○ 40.0	20.0	▼ 20.0	12.0	0.0	8.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	22.6	24.2	29.0	17.7	1.6	4.8

## <前回比較>

前回調査と比較すると、現状のつきあい方と同様、大きな変化はみられない。

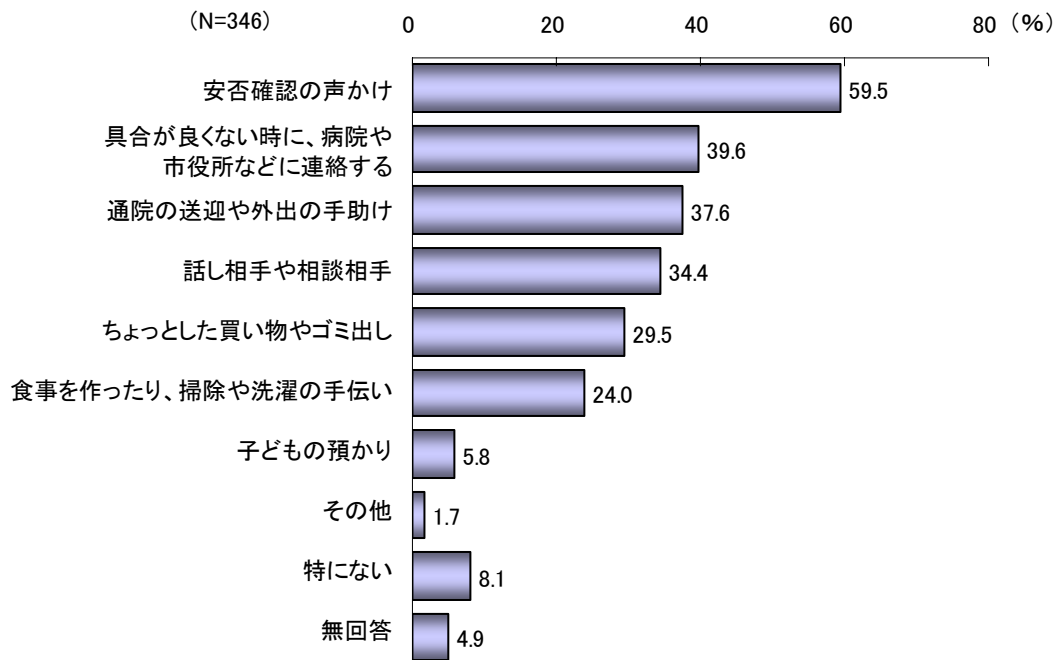
							(%)
	合計	困った時には相談したり、助け合ったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
今回調査	346	27.2	22.8	26.3	16.8	0.9	6.1
前回調査	486	21.8	22.0	26.1	15.6	1.4	13

## 7. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと／自分にできること

### 1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと

日常生活が不自由になったときに地域の人にしてほしいことは、「安否確認の声かけ」(59.5%)が最も多くほぼ6割を占めている。ついで、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(39.6%)、「通院の送迎や外出の手助け」(37.6%)、「話し相手や相談相手」(34.4%)が3割台で続いている。

問6 あなたが、将来高齢になったときや、病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人にどのようなことをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)



<属性別比較>

年齢別にみると、「20～39 歳」、「40～54 歳」では、「安否確認の声掛け」や「具合が悪くない時に、病院や市役所などに連絡する」が多くなっている。

隣近所とのつきあい方別にみると、「親しくつき合っている」人では、「ちょっとした買い物やゴミ出し」をあげる人が多くなっている。

(%)

	合計	安否確認の声掛け	具合が悪くない時に、病院や市役所などに連絡する	通院の送迎や外出の手助け	話し相手や相談相手	ちょっとした買い物やゴミ出し
<b>【全体】</b>	346	59.5	39.6	37.6	34.4	29.5
<b>【年齢】</b>						
20～39歳	72	○ 70.8	△ 47.2	33.3	34.7	▼ 20.8
40～54歳	82	△ 67.1	△ 46.3	△ 42.7	34.1	31.7
55～64歳	70	▼ 54.3	38.6	35.7	△ 40.0	34.3
65～74歳	68	▼ 54.4	35.3	△ 45.6	▼ 26.5	32.4
75歳以上	50	● 46.0	★ 22.0	● 26.0	36.0	28.0
<b>【問5 隣近所とのつきあい方】</b>						
親しくつき合っている	60	63.3	43.3	△ 45.0	△ 43.3	☆ 46.7
たまに立ち話をする程度・あいさつ程度・つきあいなし	272	58.1	39.0	35.3	32.7	25.7

	合計	食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い	子どもの預かり	その他	特になし	無回答
<b>【全体】</b>	346	24.0	5.8	1.7	8.1	4.9
<b>【年齢】</b>						
20～39歳	72	▼ 16.7	△ 15.3	2.8	4.2	2.8
40～54歳	82	26.8	△ 11.0	1.2	4.9	2.4
55～64歳	70	27.1	▼ 0.0	2.9	8.6	2.9
65～74歳	68	△ 29.4	▼ 0.0	0.0	10.3	△ 10.3
75歳以上	50	20.0	▼ 0.0	2.0	△ 14.0	8.0
<b>【問5 隣近所とのつきあい方】</b>						
親しくつき合っている	60	△ 33.3	3.3	1.7	6.7	5.0
たまに立ち話をする程度・あいさつ程度・つきあいなし	272	22.8	6.6	1.8	8.5	4.4

## <前回比較>

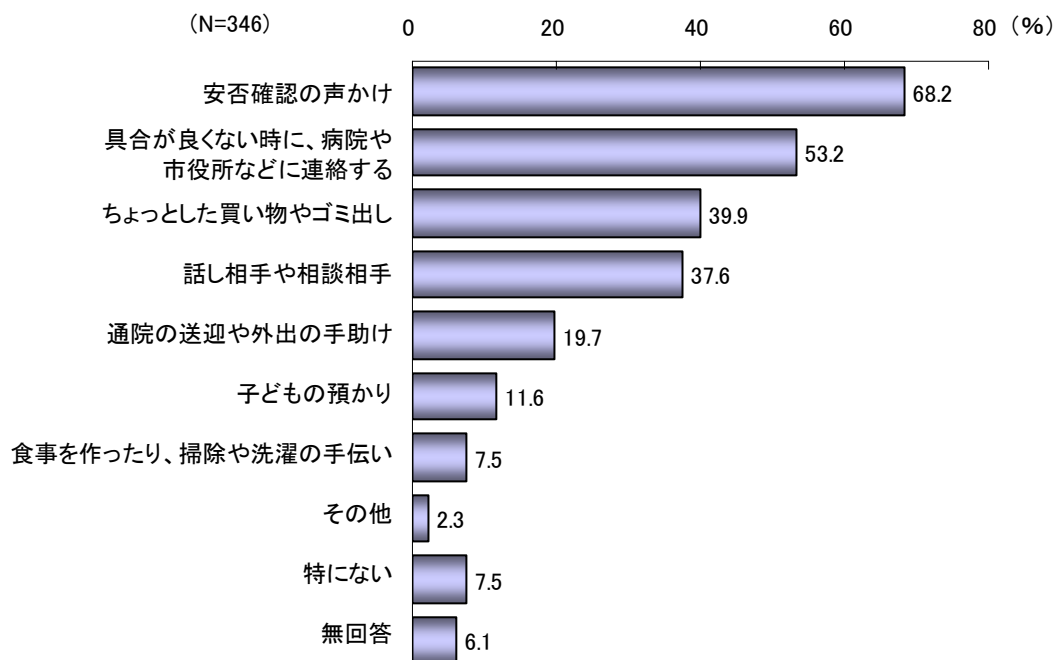
前回調査と比較すると、「ちょっとした買い物やゴミ出し」と「食事をつくったり、掃除や洗濯の手伝い」がやや増加している。

						(%)
	合計	安否確認の 声かけ	具合が良く ない時に、 病院や市役 所などに連 絡する	通院の送迎 や外出の手 助け	話し相手や 相談相手	ちょっとした 買い物やゴ ミ出し
今回調査	346	59.5	39.6	37.6	34.4	29.5
前回調査	486	56.0	37.4	34.4	30.9	24.7
	合計	食事を作っ たり、掃除 や洗濯の手 伝い	子どもの預 かり	その他	特にな い	無回答
今回調査	346	24.0	5.8	1.7	8.1	4.9
前回調査	486	17.7	6.4	2.1	9.7	3.1

## 2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることとしては、「安否確認の声かけ」(68.2%)が最も多く7割近くを占めている。ついで、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(53.2%)が多く、以下、「通院の送迎や外出の手助け」(39.9%)、「話し相手や相談相手」(37.6%)が続いている。

問 6-1. では、あなたがお住まいの地域で、日常生活を送る上で心配な方や、高齢、障害、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



<属性別比較>

年齢別にみると、「75歳以上」では、どの項目もできるとの回答が少ないが、他の年齢層ではあまり大きな差はみられない。

隣近所とのつきあい方別にみると、「親しくつき合っている」人では、「ちょっとした買い物やゴミ出し」、「話し相手や相談相手」、「通院の送迎や外出の手助け」が多くなっている。

(%)

	合計	安否確認の声かけ	具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する	ちょっとした買い物やゴミ出し	話し相手や相談相手	通院の送迎や外出の手助け
<b>【全体】</b>	346	68.2	53.2	39.9	37.6	19.7
<b>【年齢】</b>						
20～39歳	72	△ 73.6	56.9	38.9	40.3	▼ 11.1
40～54歳	82	△ 73.2	△ 61.0	41.5	37.8	23.2
55～64歳	70	70.0	△ 58.6	△ 45.7	40.0	△ 28.6
65～74歳	68	69.1	51.5	41.2	▼ 32.4	△ 25.0
75歳以上	50	★ 48.0	★ 26.0	● 26.0	34.0	● 6.0
<b>【問5 隣近所とのつきあい方】</b>						
親しくつき合っている	60	71.7	55.0	○ 50.0	○ 50.0	○ 33.3
たまに立ち話をする程度・あいさつ程度・つきあいなし	272	66.9	53.7	37.1	35.7	16.5

	合計	子どもの預かり	食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い	その他	特になし	無回答
<b>【全体】</b>	346	11.6	7.5	2.3	7.5	6.1
<b>【年齢】</b>						
20～39歳	72	△ 16.7	4.2	1.4	5.6	2.8
40～54歳	82	15.9	9.8	1.2	4.9	2.4
55～64歳	70	▼ 5.7	△ 14.3	4.3	▼ 1.4	4.3
65～74歳	68	11.8	5.9	1.5	8.8	8.8
75歳以上	50	▼ 4.0	▼ 2.0	4.0	○ 22.0	△ 16.0
<b>【問5 隣近所とのつきあい方】</b>						
親しくつき合っている	60	△ 18.3	△ 13.3	3.3	5.0	6.7
たまに立ち話をする程度・あいさつ程度・つきあいなし	272	9.6	6.6	2.2	8.1	5.5

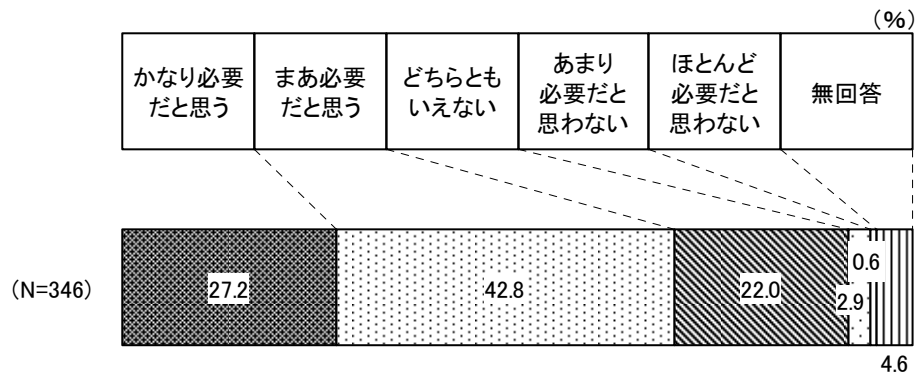


## 8. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係

### 1) 住民相互の協力関係の必要性

住民相互の協力関係の必要性については、「かなり必要だと思う」は27.2%で約4人に1人強の割合となっている。「まあ必要だと思う」(42.8%)を合わせると70.0%の人が“必要”としている。一方、“必要だと思わない”と回答した人は3.5%となっている。

問7 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(〇はひとつ)



### <属性別比較>

各層とも“必要”とする人が多くなっている。

	合計	かなり必要 だと思う	まあ必要だ と思う	どちらとも いえない	あまり必要 だと思わ ない	ほとんど必 要だと思 わない	無回答
<b>【全体】</b>	346	27.2	42.8	22.0	2.9	0.6	4.6
<b>【年齢】</b>							
20～39歳	72	23.6	△ 50.0	19.4	4.2	0.0	2.8
40～54歳	82	29.3	43.9	19.5	3.7	1.2	2.4
55～64歳	70	▼ 21.4	44.3	△ 30.0	0.0	0.0	4.3
65～74歳	68	△ 32.4	39.7	22.1	1.5	1.5	2.9
75歳以上	50	30.0	▼ 34.0	▼ 16.0	6.0	0.0	△ 14.0
<b>【居住地区】</b>							
小作台・栄町	67	▼ 20.9	44.8	22.4	7.5	0.0	4.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	△ 34.2	39.5	▼ 15.8	2.6	2.6	5.3
神明台	53	▼ 20.8	○ 54.7	18.9	0.0	0.0	5.7
富士見平・双葉町	44	22.7	▼ 36.4	○ 34.1	2.3	0.0	4.5
羽加美・羽西・羽中	75	△ 33.3	41.3	17.3	2.7	0.0	5.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 32.3	▼ 37.1	24.2	1.6	1.6	3.2

## <前回比較>

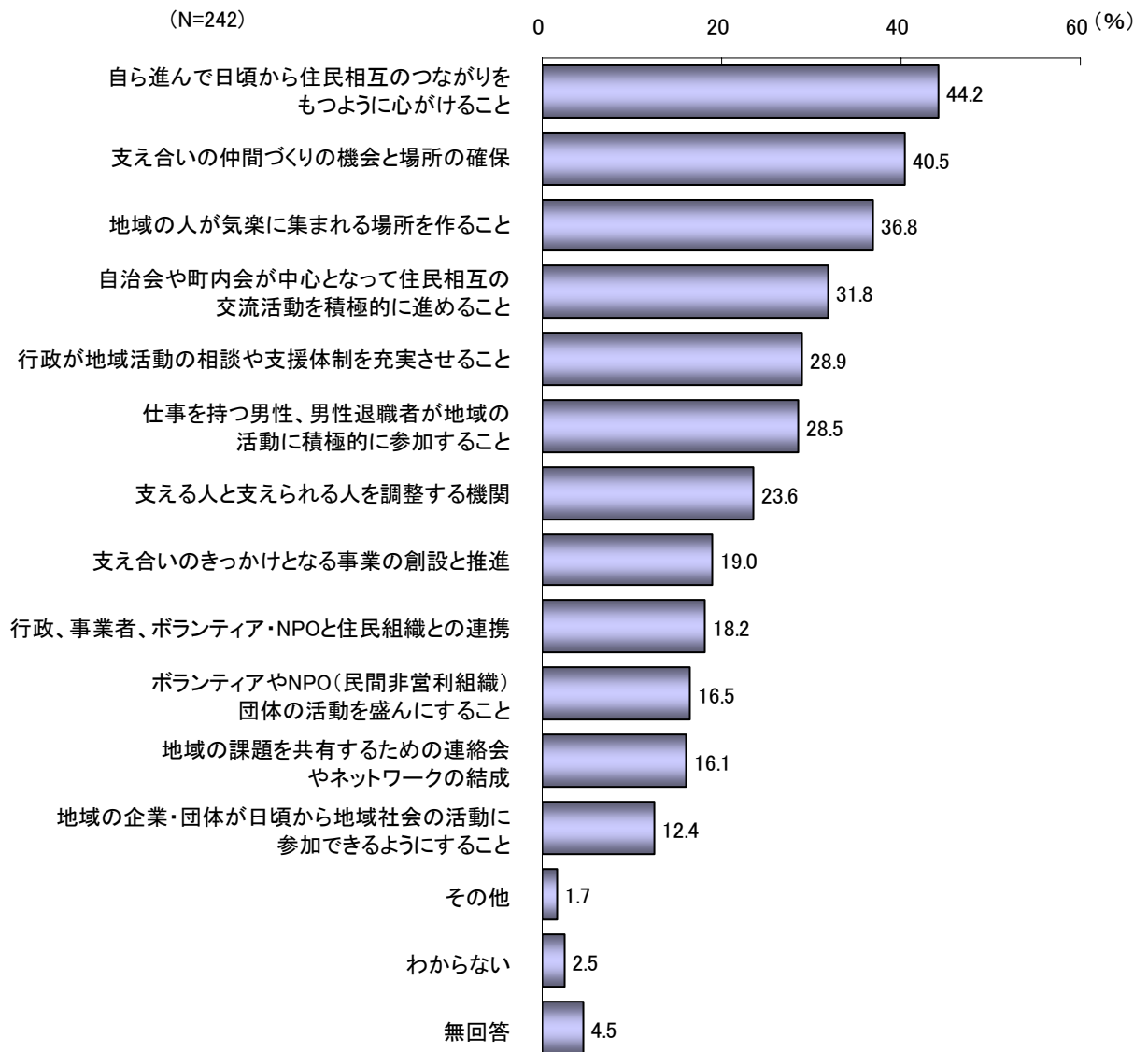
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

		かなり必要 だと思う	まあ必要だ と思う	どちらとも いえない	あまり必要 だと思わな い	ほとんど必 要だと思わ ない	(%) 無回答
	合計						
今回調査	346	27.2	42.8	22.0	2.9	0.6	4.6
前回調査	486	23.9	43.4	26.1	2.7	1.0	2.9

## 2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと

住民相互の協力関係が“必要”だと回答した人の必要だと思うこととしては、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること」が44.2%で最も多く、ついで、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」、「地域の人が気楽に集まれる場所を作ること」、「自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること」が続いている。

問 7-1 (問7で「1.かなり必要だと思う」「2.まあ必要だと思う」に○をつけた方に) どんなことが必要だと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



<属性別比較>

「自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること」は、「75歳以上」や「富士見平・双葉町」地区の人に多くなっている。

(%)

	合計	自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること	支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保	地域の人が気楽に集まれる場所を作ること	自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること	行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること	仕事を持つ男性、男性退職者が地域の活動に積極的に参加すること	支える人と支えられる人を調整する機関	支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進
【問7で <sup>1,2</sup> 「必要だ」とした方】	242	44.2	40.5	36.8	31.8	28.9	28.5	23.6	19.0
【年齢】									
20～39歳	53	39.6	39.6	32.1	▼22.6	26.4	▼18.9	28.3	20.8
40～54歳	60	43.3	43.3	▼31.7	▼23.3	33.3	31.7	25.0	21.7
55～64歳	46	41.3	△47.8	39.1	▼26.1	26.1	△37.0	21.7	17.4
65～74歳	49	49.0	40.8	40.8	○42.9	26.5	26.5	22.4	△24.5
75歳以上	32	46.9	★25.0	△43.8	☆53.1	31.3	28.1	18.8	●6.3
【居住地区】									
小作台・栄町	44	45.5	38.6	34.1	▼25.0	31.8	25.0	25.0	△27.3
川崎・玉川・羽・羽東	28	42.9	42.9	39.3	35.7	△35.7	32.1	△28.6	21.4
神明台	40	▼37.5	▼35.0	△45.0	▼22.5	▼20.0	25.0	25.0	22.5
富士見平・双葉町	26	42.3	38.5	38.5	☆53.8	▼23.1	○38.5	19.2	15.4
羽加美・羽西・羽中	56	△51.8	42.9	32.1	△37.5	28.6	26.8	23.2	17.9
五ノ神・緑ヶ丘	43	39.5	△46.5	39.5	●20.9	△34.9	27.9	20.9	▼11.6

	合計	行政、事業者、ボランティア・NPOと住民組織との連携	ボランティアやNPO（民間非営利組織）団体の活動を盛んにすること	地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの結成	地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること	その他	わからない	無回答
【問7で <sup>1,2</sup> 「必要だ」とした方】	242	18.2	16.5	16.1	12.4	1.7	2.5	4.5
【年齢】								
20～39歳	53	15.1	▼11.3	20.8	11.3	1.9	0.0	3.8
40～54歳	60	21.7	△21.7	20.0	15.0	1.7	3.3	0.0
55～64歳	46	21.7	17.4	●2.2	10.9	2.2	2.2	2.2
65～74歳	49	20.4	20.4	△22.4	16.3	0.0	0.0	8.2
75歳以上	32	●6.3	▼9.4	12.5	▼6.3	3.1	△9.4	△12.5
【居住地区】								
小作台・栄町	44	22.7	20.5	▼9.1	11.4	0.0	2.3	4.5
川崎・玉川・羽・羽東	28	14.3	▼10.7	17.9	10.7	0.0	0.0	△10.7
神明台	40	●7.5	●5.0	20.0	10.0	2.5	0.0	7.5
富士見平・双葉町	26	23.1	▼7.7	11.5	11.5	3.8	△7.7	3.8
羽加美・羽西・羽中	56	17.9	△23.2	△21.4	10.7	1.8	3.6	0.0
五ノ神・緑ヶ丘	43	△25.6	△25.6	14.0	16.3	2.3	2.3	4.7

## <前回比較>

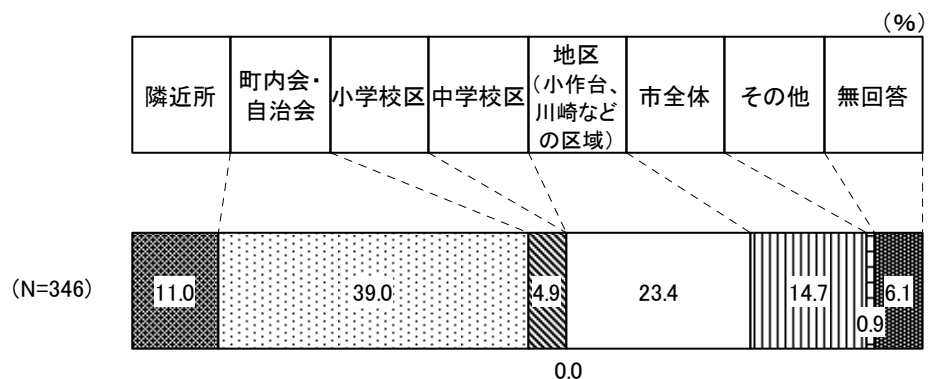
前回調査と比較すると、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」をあげる人が大きく増加し、「地域の人が気楽に集まれる場所をつくること」も増加しているのが注目される。このほか、「行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること」、「仕事を持つ男性、男性退職者が地域の活動に積極的に参加すること」もやや増加している。

									(%)
	合計	自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつよう心がけること	支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保	地域の人が気楽に集まれる場所をつくること	自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること	行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること	仕事を持つ男性、男性退職者が地域の活動に積極的に参加すること	支える人と支えられる人を調整する機会	支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進
今回調査	242	44.2	40.5	36.8	31.8	28.9	28.5	23.6	19.0
前回調査	327	45.0	26.6	31.8	30.3	22.9	23.2	22.6	16.5
	合計	行政、事業者、ボランティア・NPOと住民組織との連携	ボランティアやNPO（民間非営利組織）団体の活動を盛んにすること	地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの結成	地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること	その他	わからない	無回答	
今回調査	242	18.2	16.5	16.1	12.4	1.7	2.5	4.5	
前回調査	327	19.3	18.3	14.4	9.8	2.8	3.4	3.7	

## 9. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲

「地域」と聞いて思い浮かべる範囲は、「町内会・自治会」が39.0%で最も多い。ついで、「地区（小作台、川崎などの区域）」（23.4%）、「市全体」（14.7%）が続いている。

問8 あなたは、「地域」という言葉を聞いたとき、どの範囲を思い浮かべますか。（〇はひとつ）



### <属性別比較>

年齢別にみると、「40～54歳」では「町内会・自治会」が少なく、「地区（小作台、川崎などの区域）」が多くなっている。「75歳以上」では「隣近所」や「町内会・自治会」が多くなっている。

	合計	隣近所	町内会・自治会	小学校区	中学校区	地区(小作台、川崎などの区域)	市全体	その他	無回答
									(%)
<b>【全体】</b>	346	11.0	39.0	4.9	0.0	23.4	14.7	0.9	6.1
<b>【年齢】</b>									
20～39歳	72	▼ 1.4	34.7	5.6	0.0	27.8	△ 22.2	1.4	6.9
40～54歳	82	▼ 4.9	● 26.8	8.5	0.0	○ 35.4	18.3	0.0	6.1
55～64歳	70	14.3	△ 47.1	5.7	0.0	18.6	10.0	1.4	2.9
65～74歳	68	△ 16.2	41.2	1.5	0.0	22.1	13.2	1.5	4.4
75歳以上	50	○ 24.0	○ 50.0	0.0	0.0	★ 8.0	▼ 6.0	0.0	△ 12.0
<b>【居住地区】</b>									
小作台・栄町	67	13.4	● 26.9	4.5	0.0	△ 29.9	19.4	0.0	6.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	7.9	△ 47.4	7.9	0.0	▼ 15.8	10.5	2.6	7.9
神明台	53	△ 18.9	37.7	3.8	0.0	20.8	11.3	0.0	7.5
富士見平・双葉町	44	▼ 2.3	36.4	6.8	0.0	△ 29.5	13.6	2.3	9.1
羽加美・羽西・羽中	75	10.7	○ 49.3	2.7	0.0	18.7	13.3	1.3	4.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	11.3	37.1	3.2	0.0	27.4	16.1	0.0	4.8

### <前回比較>

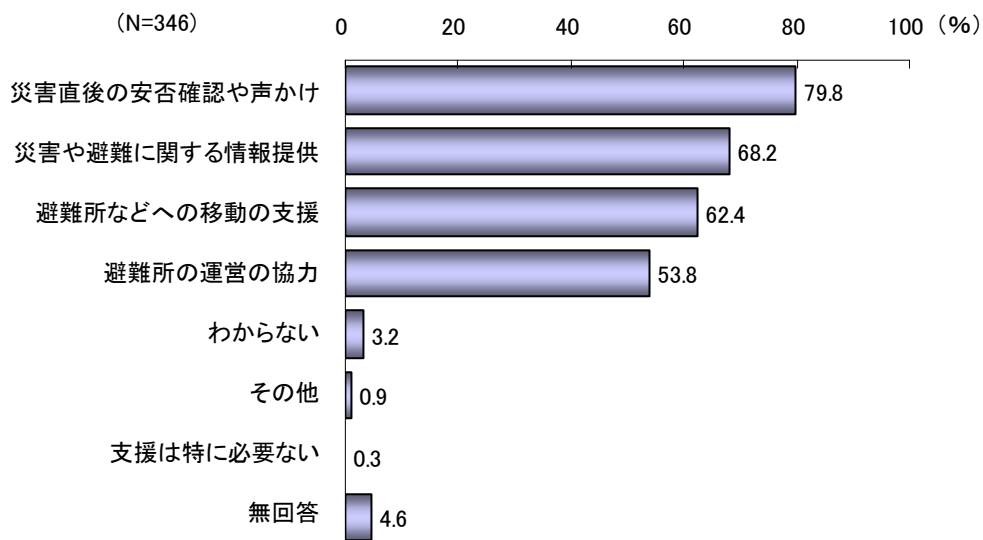
前回調査と比較すると、「地区（小作台、川崎などの区域）」をあげる人がやや増加し、「町内会・自治会」が少なくなっている。

	合計	隣近所	町内会・自治会	小学校区	中学校区	地区(小作台、川崎などの区域)	市全体	その他	無回答
									(%)
今回調査	346	11.0	39.0	4.9	0.0	23.4	14.7	0.9	6.1
前回調査	486	12.8	44.7	4.3	0.4	18.9	14.8	1.0	3.1

## 10. 災害時における住民間の相互支援

災害時における住民間の相互支援としては、「災害直後の安否確認や声掛け」(79.8%)をあげる人が最も多く、ついで、「災害や避難に関する情報提供」(68.2%)、「避難所などへの移動の支援」(62.4%)、「避難所の運営の協力」(53.8%)が続いている。

問9 あなたは、災害がおこった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。



### <属性別比較>

年齢別にみると、「20～39歳」では「避難所の運営の協力」をあげる人が他の年齢層に比べて多くなっている。

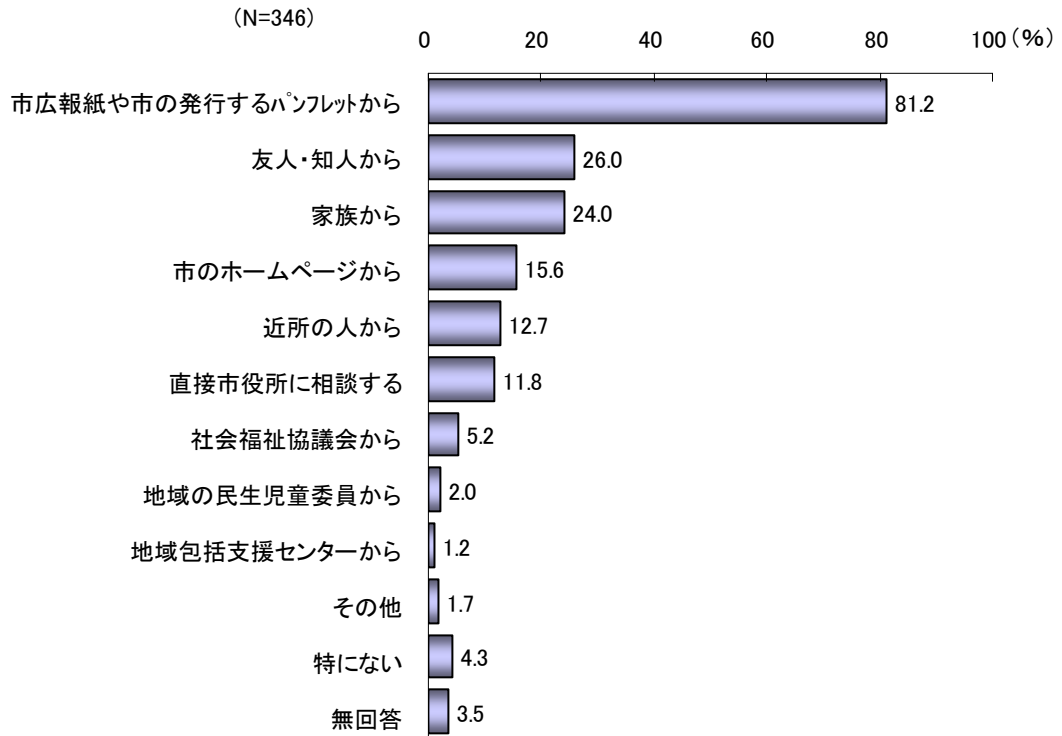
	合計	災害直後の安否確認や声かけ	災害や避難に関する情報提供	避難所などへの移動の支援	避難所の運営の協力	わからない	その他	支援は特に必要ない	無回答
<b>【全体】</b>	346	79.8	68.2	62.4	53.8	3.2	0.9	0.3	4.6
<b>【年齢】</b>									
20～39歳	72	83.3	69.4	△ 70.8	○ 65.3	1.4	1.4	0.0	2.8
40～54歳	82	82.9	△ 74.4	61.0	△ 62.2	0.0	1.2	0.0	2.4
55～64歳	70	82.9	65.7	61.4	55.7	4.3	0.0	0.0	4.3
65～74歳	68	79.4	67.6	61.8	● 42.6	4.4	0.0	0.0	4.4
75歳以上	50	● 66.0	▼ 60.0	▼ 54.0	★ 36.0	6.0	2.0	2.0	△ 12.0

### Ⅲ. 行政と地域住民との関わりについて

#### 1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先

行政や福祉サービスに関する情報は、「市広報紙や市の発行するパンフレットから」入手している人が8割強と大多数を占めている。

問10 あなたは、行政や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。(〇は3つまで)



## <属性別比較>

「市広報紙や市の発行するパンフレットから」は、「55～64歳」で多くなっている。「市のホームページから」は“20～54歳”で2割強と多くなっている。

	合計	市広報紙や市の発行するパンフレットから	友人・知人から	家族から	市のホームページから	近所の人から	直接市役所に相談する	(%)
<b>【全体】</b>	346	81.2	26.0	24.0	15.6	12.7	11.8	
<b>【年齢】</b>								
20～39歳	72	76.4	27.8	△ 33.3	△ 23.6	9.7	11.1	
40～54歳	82	85.4	● 13.4	▼ 17.1	△ 22.0	▼ 7.3	13.4	
55～64歳	70	○ 92.9	28.6	▼ 14.3	11.4	▼ 7.1	7.1	
65～74歳	68	79.4	○ 38.2	22.1	▼ 10.3	○ 26.5	△ 17.6	
75歳以上	50	● 68.0	22.0	○ 36.0	▼ 6.0	16.0	8.0	

	合計	社会福祉協議会から	地域の民生児童委員から	地域包括支援センターから	その他	特にない	無回答	(%)
<b>【全体】</b>	346	5.2	2.0	1.2	1.7	4.3	3.5	
<b>【年齢】</b>								
20～39歳	72	1.4	0.0	0.0	5.6	5.6	2.8	
40～54歳	82	3.7	1.2	0.0	1.2	4.9	2.4	
55～64歳	70	5.7	1.4	1.4	1.4	2.9	1.4	
65～74歳	68	8.8	1.5	2.9	0.0	4.4	4.4	
75歳以上	50	8.0	△ 8.0	2.0	0.0	4.0	8.0	

## <前回比較>

前回調査と比較すると、「市のホームページから」がやや増加している。

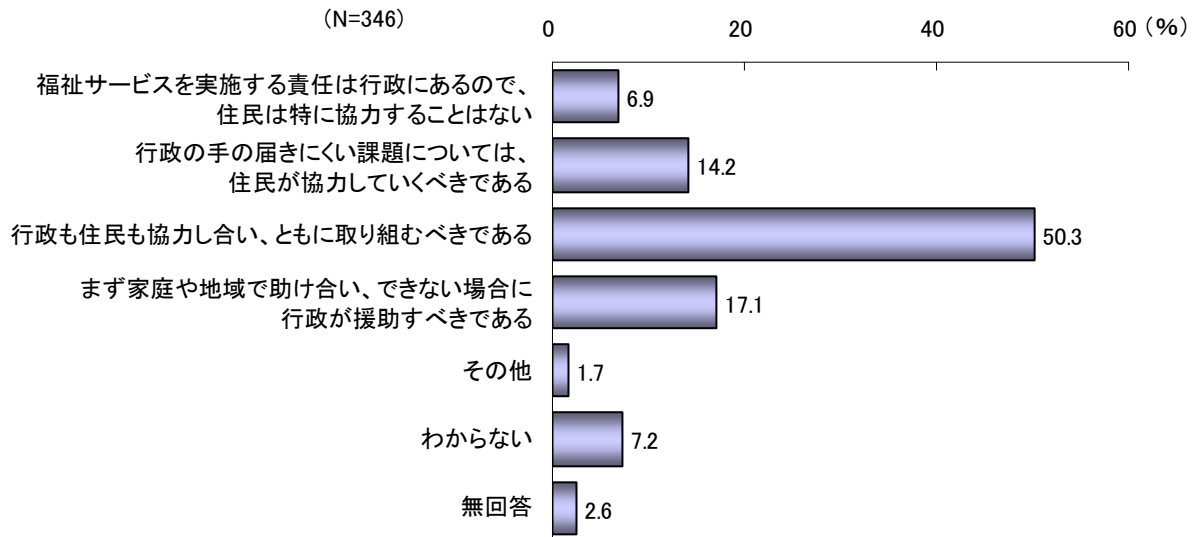
	合計	市広報紙や市の発行するパンフレットから	友人・知人から	家族から	市のホームページから	近所の人から	直接市役所に相談する	(%)
<b>今回調査</b>	346	81.2	26.0	24.0	15.6	12.7	11.8	
<b>前回調査</b>	486	84.8	25.7	20.2	10.5	9.9	10.9	
	合計	社会福祉協議会から	地域の民生児童委員から	地域包括支援センターから	その他	特にない	無回答	(%)
<b>今回調査</b>	346	5.2	2.0	1.2	1.7	4.3	3.5	
<b>前回調査</b>	486	7.6	1.0	0.4	2.7	6.4	2.5	



## 2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係

福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係をみると、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」(50.3%)が最も多く、半数を占めている。

問11 福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はひとつ)



### <属性別比較>

「65歳以上」の人は、「まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである」とする人がやや多くなっている。

	合計	福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない	行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである	行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである	まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである	その他	わからない	無回答
【全体】	346	6.9	14.2	50.3	17.1	1.7	7.2	2.6
【年齢】								
20～39歳	72	11.1	18.1	47.2	▼ 11.1	4.2	8.3	0.0
40～54歳	82	3.7	18.3	53.7	▼ 11.0	1.2	8.5	3.7
55～64歳	70	10.0	17.1	51.4	▼ 11.4	0.0	8.6	1.4
65～74歳	68	5.9	▼ 5.9	△ 57.4	△ 23.5	1.5	2.9	2.9
75歳以上	50	2.0	▼ 8.0	● 38.0	☆ 36.0	2.0	8.0	6.0
【居住地区】								
小作台・栄町	67	7.5	13.4	○ 62.7	▼ 11.9	0.0	3.0	1.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	▼ 0.0	13.2	52.6	21.1	0.0	7.9	5.3
神明台	53	○ 17.0	△ 20.8	● 37.7	13.2	0.0	9.4	1.9
富士見平・双葉町	44	▼ 0.0	15.9	47.7	18.2	4.5	△ 13.6	0.0
羽加美・羽西・羽中	75	5.3	13.3	50.7	18.7	2.7	5.3	4.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	8.1	9.7	46.8	△ 22.6	1.6	8.1	3.2

<前回比較>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

								(%)
	合計	福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない	行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである	行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである	まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである	その他	わからない	無回答
今回調査	346	6.9	14.2	50.3	17.1	1.7	7.2	2.6
前回調査	486	5.8	17.9	50.0	16.0	0.6	6.6	3.1

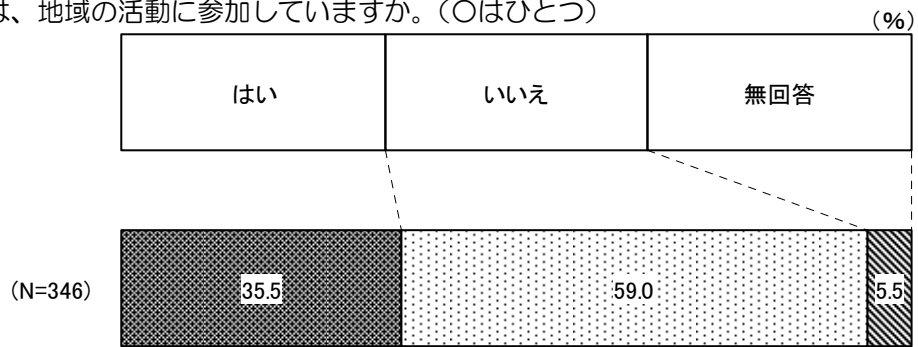
## IV. 地域活動の参加について

### 1. 地域活動への参加状況

#### 1) 参加の有無

地域活動に参加しているかとの質問に対し、「はい」は35.5%、「いいえ」は59.0%であり、参加している人は約3人に1人強の割合となっている。

問12 あなたは、地域の活動に参加していますか。(〇はひとつ)



#### <属性別比較>

地域活動に参加しているのは、年齢では「65歳以上」、地区では「川崎・玉川・羽・羽東」地区、「羽加美・羽西・羽中」地区、住居形態では「一戸建て持家」、隣近所と「親しくつき合っている」人に多くなっている。

	合計	はい	いいえ →問12-3へ	無回答
<b>【全体】</b>	346	35.5	59.0	5.5
<b>【年齢】</b>				
20～39歳	72	● 25.0	○ 72.2	2.8
40～54歳	82	31.7	△ 64.6	3.7
55～64歳	70	35.7	60.0	4.3
65～74歳	68	○ 47.1	● 48.5	4.4
75歳以上	50	△ 42.0	★ 42.0	○ 16.0
<b>【居住年数】</b>				
9年以下	73	▼ 27.4	○ 69.9	2.7
10～19年	47	34.0	61.7	4.3
20年以上	217	39.2	54.4	6.5
<b>【居住地区】</b>				
小作台・栄町	67	● 22.4	○ 71.6	6.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	☆ 52.6	★ 42.1	5.3
神明台	53	▼ 28.3	○ 69.8	1.9
富士見平・双葉町	44	38.6	54.5	6.8
羽加美・羽西・羽中	75	○ 48.0	● 46.7	5.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	▼ 27.4	△ 66.1	6.5
<b>【住居形態】</b>				
一戸建て持家	218	△ 43.6	▼ 50.5	6.0
その他	124	● 21.8	☆ 74.2	4.0
<b>【問2 暮らしやすさの満足度】</b>				
満足している	243	△ 41.2	▼ 52.7	6.2
満足していない	98	● 23.5	○ 72.4	4.1
<b>【問5 隣近所とのつきあい方】</b>				
親しくつき合っている	60	☆ 51.7	★ 38.3	10.0
たまに立ち話をする程度・あいさつ程度・つきあいなし	272	▼ 29.8	△ 66.2	4.0

## <前回比較>

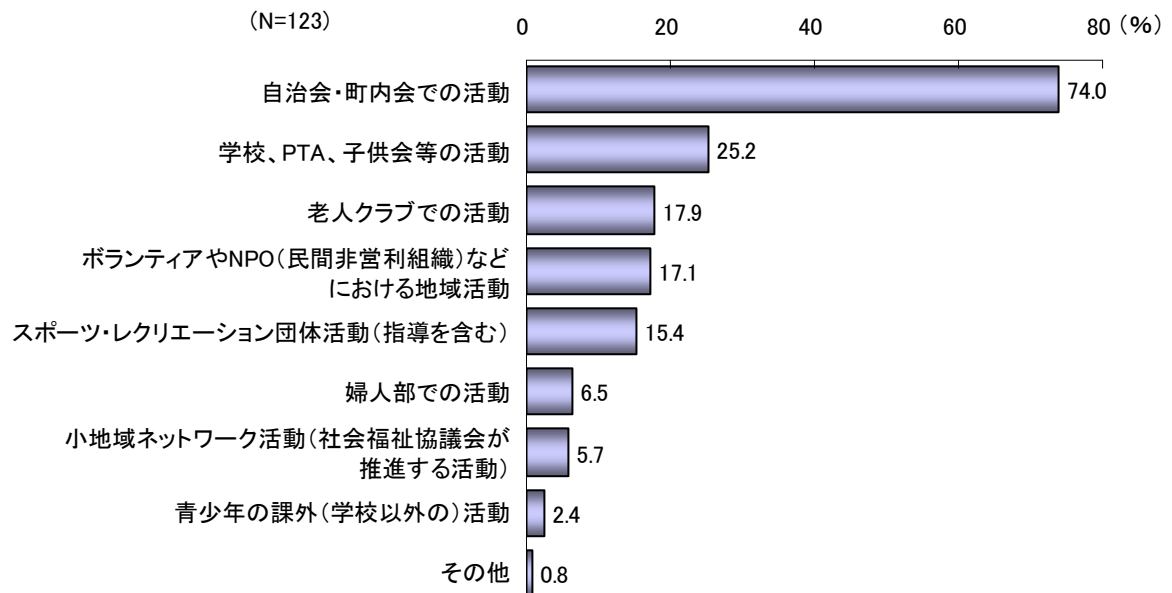
前回調査と比較すると、地域活動に参加している人はやや少なくなっている。

				(%)
	合計	はい	いいえ	無回答
今回調査	346	35.5	59.0	5.5
前回調査	486	40.7	57.4	1.9

## 2) 参加している地域活動

地域活動に“参加している”人の参加活動をみると、「自治会・町内会での活動」が74.0%と多数を占めている。ついで、「学校、PTA、子供会等の活動」(25.2%)が2割台で続いている。

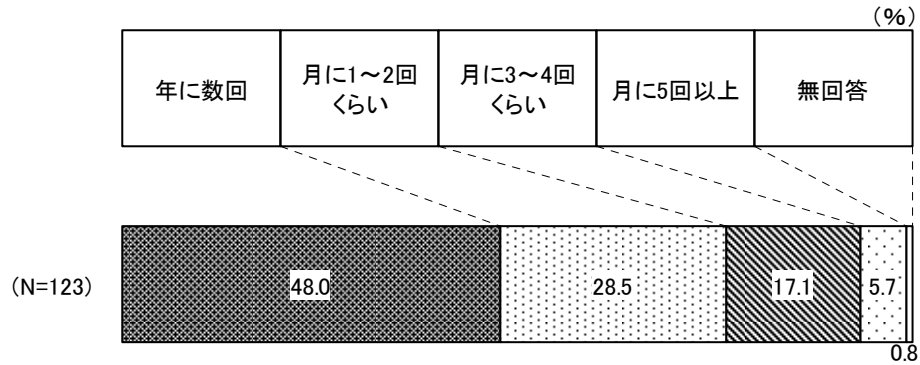
問 12-1 (問 12で「1.はい」に○をつけた方に) あなたが、地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)



### 3) 活動への参加頻度

活動への参加頻度は、「年に数回」(48.0%)が最も多く、半数近くを占めている。

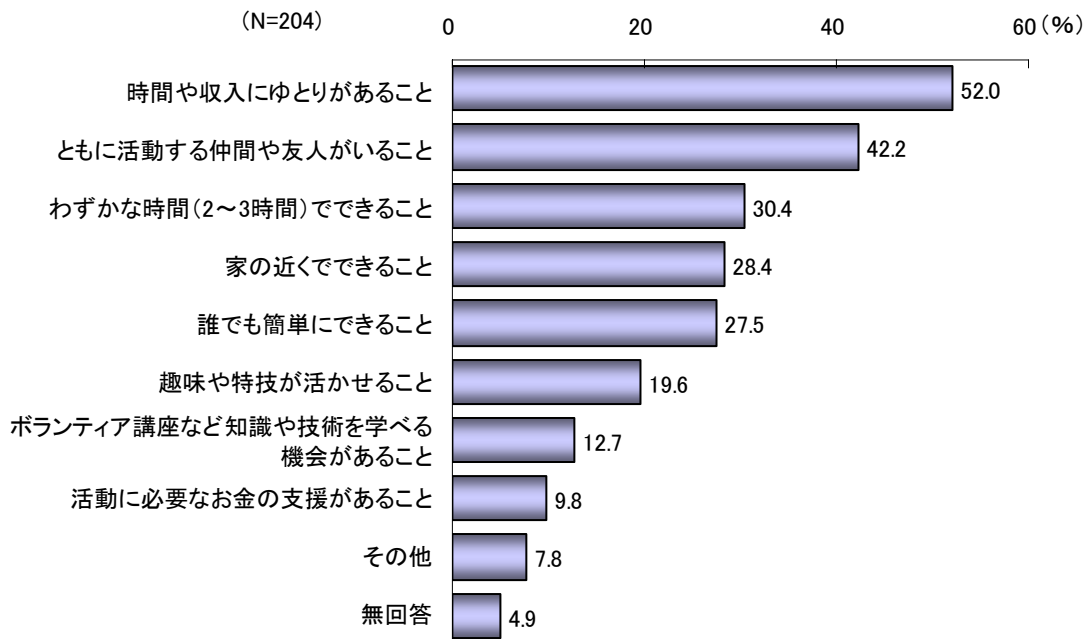
問 12-2 (問 12 で「1.はい」に○をつけた方に) あなたは、その活動にどの程度参加していますか。(○はひとつ)



## 2. 地域活動に参加するための条件

地域活動に“参加していない”人の参加のための条件をみると、「時間や収入にゆとりがあること」が 52.0%と最も多くなっている。ついで、「ともに活動する仲間や友人がいること」(42.2%)が多く、以下、「わずかな時間(2~3時間)でできること」(30.4%)、「家の近くでできること」(28.4%)、「誰でも簡単にできること」(27.5%)が3割前後で上位にあげられている。

問 12-3 (問 12 で「2.いいえ」に○をつけた方に) どのような条件が整えば、地域の活動に参加しやすくなりますか。(あてはまるものすべてに○)



### <属性別比較>

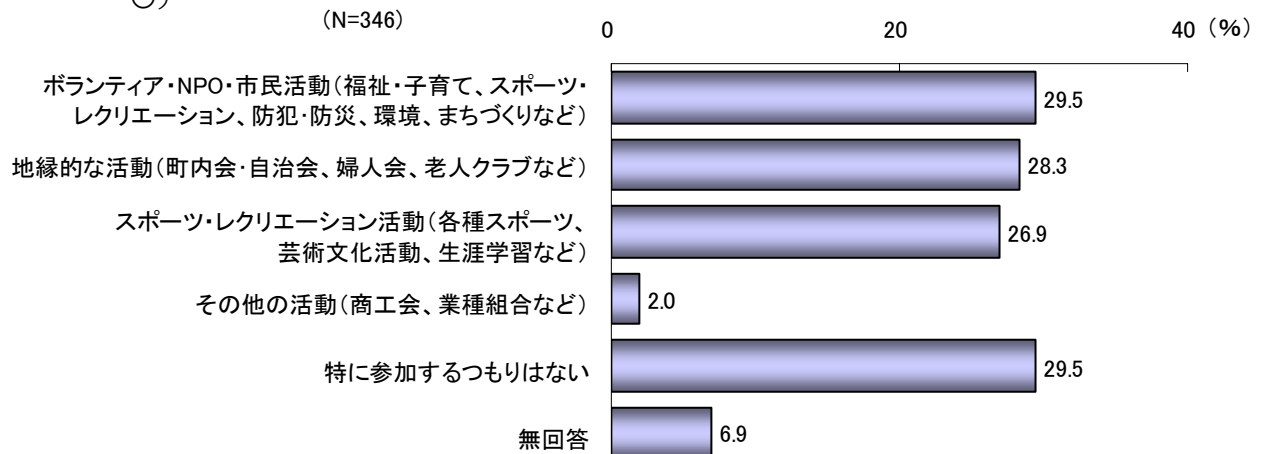
年齢別にみると、「20～39歳」では、他の年齢層に比べ「ともに活動する仲間や友人がいること」をあげる人が多く、「40～54歳」では、「時間や収入にゆとりがあること」をあげる人が多い。

	合計	時間や収入にゆとりがあること	ともに活動する仲間や友人がいること	わずかな時間(2～3時間)でできること	家の近くでできること	誰でも簡単にできること	趣味や特技が活かせること	ボランティア講座など知識や技術を学べる機会があること	活動に必要なお金の支援があること	その他	無回答
【問12で「参加していない」とした方】	204	52.0	42.2	30.4	28.4	27.5	19.6	12.7	9.8	7.8	4.9
【年齢】											
20～39歳	52	△ 61.5	☆ 57.7	34.6	▼ 19.2	26.9	23.1	○ 23.1	9.6	5.8	0.0
40～54歳	53	☆ 71.7	41.5	△ 39.6	28.3	32.1	18.9	▼ 7.5	△ 17.0	7.5	0.0
55～64歳	42	△ 57.1	▼ 33.3	31.0	△ 38.1	28.6	▼ 14.3	9.5	11.9	7.1	0.0
65～74歳	33	★ 27.3	42.4	▼ 24.2	30.3	24.2	24.2	15.2	▼ 3.0	6.1	△ 12.1
75歳以上	21	★ 9.5	★ 19.0	★ 4.8	33.3	▼ 19.0	▼ 14.3	▼ 4.8	▼ 0.0	△ 14.3	☆ 28.6

### 3. 今後参加したい地域活動

今後参加したい地域活動は、「ボランティア・NPO・市民活動」(29.5%)、「地縁的な活動」(28.3%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(26.9%)の3つが多くなっているが、一方で、「特に参加するつもりはない」とする人が29.5%となっている。

問13 あなたが、今後参加したいと思う地域での活動をあげてください。(あてはまるものすべてに○)



### <属性別比較>

“20～54歳”では、「ボランティア・NPO・市民活動」をあげる人が4割台となっている。

	合計	ボランティア・NPO・市民活動(福祉・子育て、スポーツ・レクリエーション、防犯・防災、環境、まちづくりなど)	地縁的な活動(町内会・自治会、婦人会、老人クラブなど)	スポーツ・レクリエーション活動(各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など)	その他の活動(商工会、業種組合など)	特に参加するつもりはない	無回答
【全体】	346	29.5	28.3	26.9	2.0	29.5	6.9
【年齢】							
20～39歳	72	○ 41.7	● 18.1	△ 31.9	4.2	26.4	2.8
40～54歳	82	○ 41.5	25.6	△ 34.1	1.2	26.8	3.7
55～64歳	70	▼ 24.3	28.6	○ 37.1	1.4	25.7	5.7
65～74歳	68	25.0	△ 36.8	▼ 17.6	2.9	27.9	10.3
75歳以上	50	★ 8.0	△ 36.0	★ 6.0	0.0	☆ 46.0	△ 14.0
【居住地区】							
小作台・栄町	67	△ 35.8	26.9	△ 32.8	3.0	▼ 20.9	7.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	▼ 23.7	26.3	28.9	0.0	28.9	2.6
神明台	53	▼ 22.6	● 15.1	28.3	0.0	○ 39.6	5.7
富士見平・双葉町	44	▼ 22.7	△ 34.1	27.3	0.0	29.5	6.8
羽加美・羽西・羽中	75	33.3	○ 41.3	24.0	5.3	26.7	4.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	33.9	▼ 22.6	▼ 21.0	1.6	△ 35.5	11.3

### <前回比較>

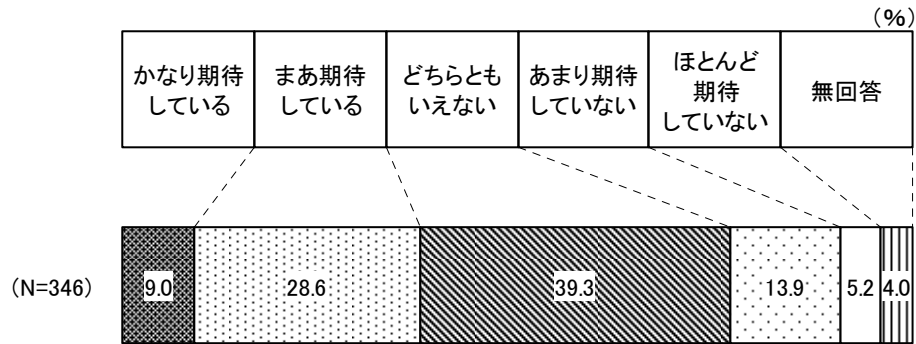
前回調査と比較すると、「スポーツ・レクリエーション活動」が少なくなり「地縁的な活動」がやや多くなっている。

	合計	ボランティア・NPO・市民活動(福祉・子育て、スポーツ・レクリエーション、防犯・防災、環境、まちづくりなど)	地縁的な活動(町内会・自治会、婦人会、老人クラブなど)	スポーツ・レクリエーション活動(各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など)	その他の活動(商工会、業種組合など)	特に参加するつもりはない	無回答
今回調査	346	29.5	28.3	26.9	2.0	29.5	6.9
前回調査	486	30.9	22.0	32.9	2.1	26.1	10.5

#### 4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度

地域でのボランティア活動やNPOの活動に“期待している”は37.6%、“期待していない”は19.1%であり、「どちらともいえない」とする人が約4割と多くなっている。

問14 あなたは、地域でのボランティアやNPOの活動にどの程度期待していますか。(〇はひとつ)



#### <属性別比較>

年齢別にみると、「20～39歳」では「どちらともいえない」が5割弱とやや多くなっている。

	合計	かなり期待している	まあ期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	ほとんど期待していない	無回答
【全体】	346	9.0	28.6	39.3	13.9	5.2	4.0
【年齢】							
20～39歳	72	4.2	33.3	△ 48.6	12.5	1.4	0.0
40～54歳	82	9.8	△ 34.1	36.6	12.2	7.3	0.0
55～64歳	70	5.7	28.6	42.9	17.1	4.3	1.4
65～74歳	68	13.2	25.0	35.3	16.2	2.9	7.4
75歳以上	50	△ 14.0	● 16.0	▼ 30.0	12.0	△ 12.0	○ 16.0
【居住地区】							
小作台・栄町	67	9.0	26.9	37.3	16.4	4.5	6.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	13.2	31.6	▼ 31.6	10.5	5.3	7.9
神明台	53	7.5	24.5	41.5	△ 22.6	1.9	1.9
富士見平・双葉町	44	4.5	27.3	○ 50.0	9.1	9.1	0.0
羽加美・羽西・羽中	75	▼ 4.0	△ 37.3	44.0	▼ 6.7	5.3	2.7
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 17.7	▼ 22.6	● 27.4	△ 19.4	6.5	6.5



## <前回比較>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

							(%)
	合計	かなり期待している	まあ期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	ほとんど期待していない	無回答
今回調査	346	9.0	28.6	39.3	13.9	5.2	4.0
前回調査	486	8.4	27.4	40.9	12.8	3.9	6.6

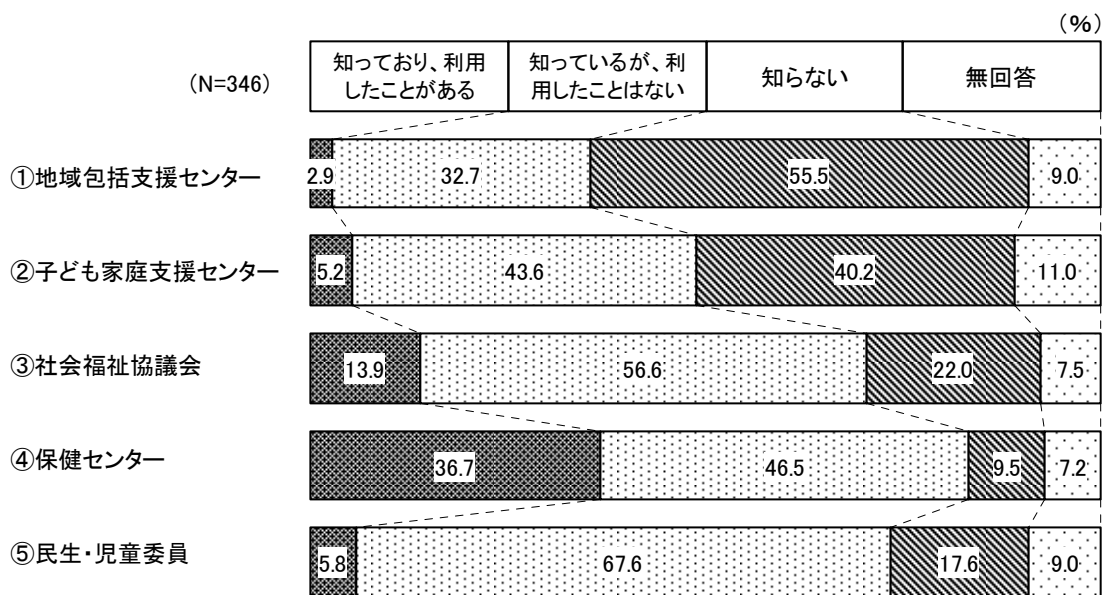
## V. 市の福祉施策や制度・サービスについて

### 1. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況

市の福祉や保健にかかわる相談窓口や相談機関について、「知っており、利用したことがある」との回答が多いのは「④保健センター」であり、4割近くを占めている。

「知っているが利用したことはない」と合わせた“認知率”をみると、「④保健センター」は83.2%、「⑤民生・児童委員」は73.4%、「③社会福祉協議会」は70.5%と比較的高い認知状況となっている。一方、「①地域包括支援センター」と「②子ども家庭支援センター」は「知らない」との回答が多くなっている。

問15 あなたは、市の福祉や保健にかかわる次のような相談窓口や相談機関をご存知ですか。（項目ごとに○はひとつ）



## <属性別認知率>

属性別に“認知率”をみたのが以下の表である。

年齢別にみると、「③社会福祉協議会」の“認知率”は「55～64歳」では高いが、「20～39歳」や「75歳以上」では低くなっている。

居住年数別では、「9年以下」では、「③社会福祉協議会」と「⑤民生・児童委員」が低くなっている。

地区別みると、「富士見平・双葉町」地区では「①地域包括支援センター」、「②子ども家庭支援センター」、「⑤民生・児童委員」がやや低く、「神明台」地区の「⑤民生・児童委員」の認知度も低くなっている。

	合計	①地域包括支援センター	②子ども家庭支援センター	③社会福祉協議会	④保健センター	⑤民生・児童委員
						(%)
【全体】	346	35.5	48.8	70.5	83.2	73.4
【年齢】						
20～39歳	72	▼ 29.2	○ 59.7	● 55.6	84.7	▼ 66.7
40～54歳	82	40.2	△ 57.3	74.4	87.8	78.0
55～64歳	70	34.3	51.4	☆ 88.6	△ 91.4	○ 85.7
65～74歳	68	36.8	▼ 39.7	72.1	▼ 77.9	▼ 64.7
75歳以上	50	38.0	★ 30.0	● 60.0	★ 68.0	70.0
【居住年数】						
9年以下	73	32.9	△ 56.2	● 60.3	79.5	▼ 67.1
10～19年	47	34.0	△ 57.4	70.2	87.2	△ 78.7
20年以上	217	36.9	45.6	75.1	83.9	75.1
【居住地区】						
小作台・栄町	67	△ 41.8	47.8	△ 77.6	83.6	△ 80.6
川崎・玉川・羽・羽東	38	△ 42.1	47.4	68.4	▼ 76.3	71.1
神明台	53	35.8	49.1	69.8	81.1	● 62.3
富士見平・双葉町	44	▼ 27.3	▼ 43.2	65.9	△ 90.9	▼ 68.2
羽加美・羽西・羽中	75	37.3	52.0	70.7	84.0	△ 80.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	30.6	51.6	71.0	80.6	74.2

※数字は「知っている」の合計比率

## <前回比較>

前回調査と比較すると、「①地域包括支援センター」と「②子ども家庭支援センター」の“認知率”が大きく増加している。

	合計	①地域包括支援センター	②子ども家庭支援センター	③社会福祉協議会	④保健センター	⑤民生・児童委員
						(%)
今回調査	346	35.5	48.8	70.5	83.2	73.4
前回調査	486	18.5	36.0	68.3	84.6	71.8

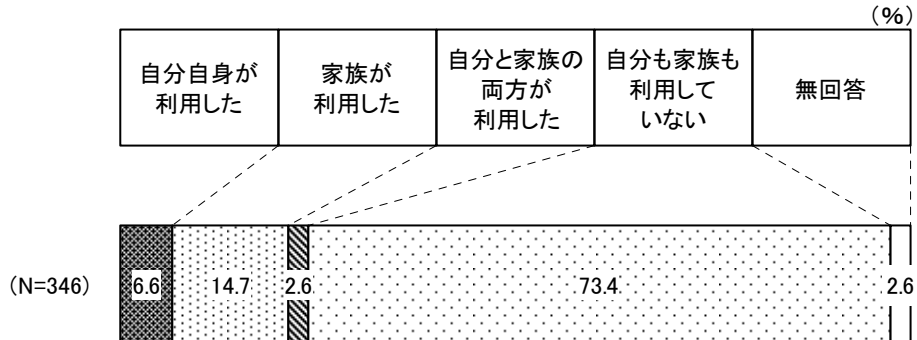
※数字は「知っている」の合計比率

## 2. 最近1年間の福祉サービスの利用状況

### 1) サービスの利用者

最近1年間に自分自身や家族が福祉サービスを“利用した”との回答は23.9%となっている。

問16 あなたを含め、家族のなかで最近1年間に、高齢者や障害者、子育て支援などに関する福祉サービスを利用した人がいますか。(〇はひとつ)



### <前回比較>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

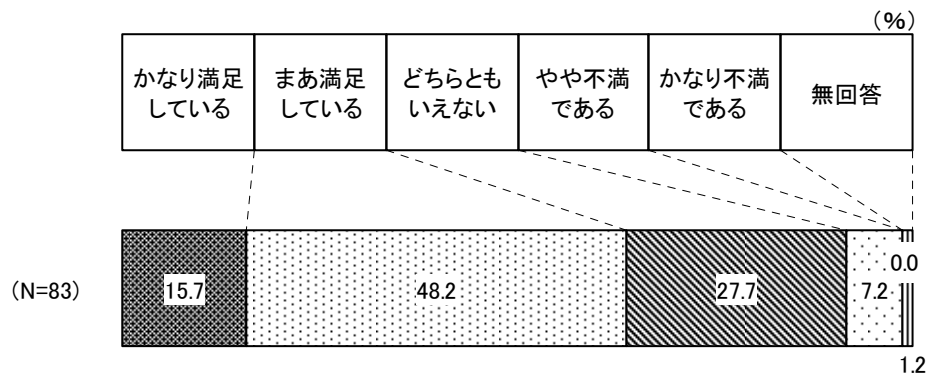
	合計	自分自身が利用した	家族が利用した	自分と家族の両方が利用した	自分も家族も利用していない	無回答
今回調査	346	6.6	14.7	2.6	73.4	2.6
前回調査	486	4.5	12.6	2.1	76.3	4.5

(%)

### 2) 利用したサービスの満足度

利用したサービスについての“満足率”は63.9%と高く、“不満率”は7.2%にとどまる。

問16-1 (問16で「1.自分自身が利用した」「2.家族が利用した」「3.自分と家族の両方が利用した」に〇をつけた方に)利用した福祉サービスに満足していますか。(〇はひとつ)

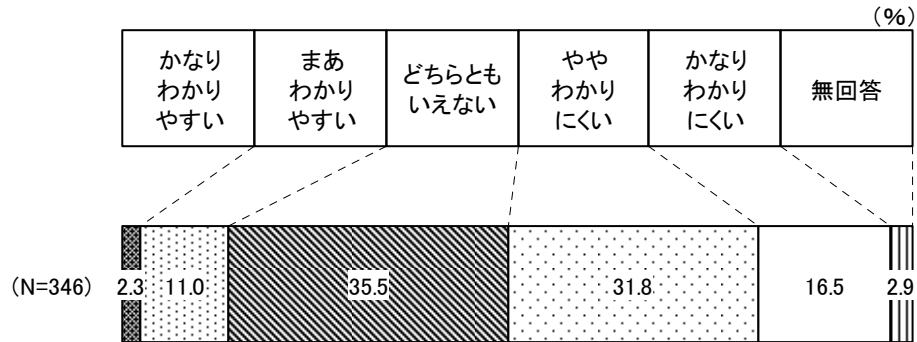


### 3. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ

#### 1) 分かりやすさ

福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさについて、“わかりやすい”との回答は13.3%にとどまり、“わかりにくい”との回答が48.3%となっている。

問17 あなたにとって、福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みは分かりやすいですか。(〇はひとつ)



#### <属性別比較>

属性別にみても各層とも“わかりにくい”との回答が多くなっている。

	合計	かなりわかりやすい	まあわかりやすい	どちらともいえない	ややわかりにくい	かなりわかりにくい	無回答
<b>【全体】</b>	346	2.3	11.0	35.5	31.8	16.5	2.9
<b>【年齢】</b>							
20～39歳	72	1.4	12.5	36.1	33.3	15.3	1.4
40～54歳	82	1.2	▼ 4.9	△ 42.7	30.5	20.7	0.0
55～64歳	70	1.4	7.1	40.0	△ 37.1	14.3	0.0
65～74歳	68	5.9	△ 16.2	32.4	▼ 22.1	19.1	4.4
75歳以上	50	2.0	△ 18.0	● 22.0	36.0	▼ 10.0	△ 12.0
<b>【居住年数】</b>							
9年以下	73	2.7	9.6	37.0	30.1	20.5	0.0
10～19年	47	2.1	6.4	△ 44.7	29.8	17.0	0.0
20年以上	217	2.3	12.4	33.2	32.7	14.7	4.6

#### <前回比較>

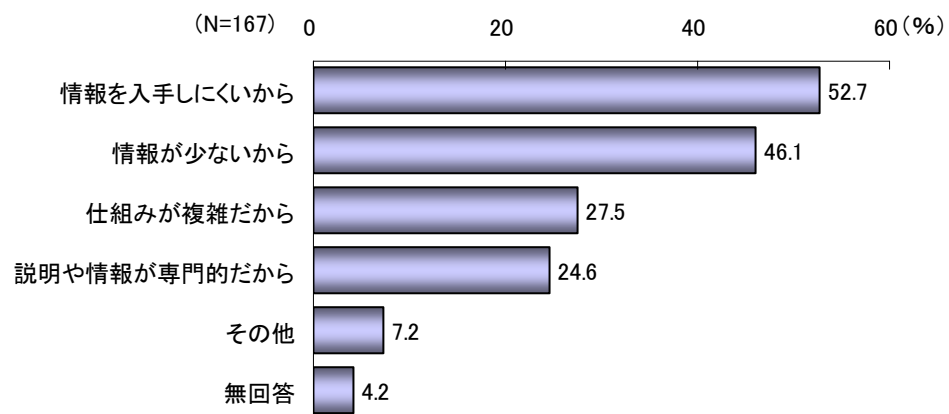
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

	合計	かなりわかりやすい	まあわかりやすい	どちらともいえない	ややわかりにくい	かなりわかりにくい	無回答
今回調査	346	2.3	11.0	35.5	31.8	16.5	2.9
前回調査	486	1.9	13.8	37.2	29.4	14.8	2.9

## 2) わかりにくいと思う理由

“わかりにくい”と回答した人の理由は、「情報を入手しにくいから」、「情報が少ないから」が50%前後で上位にあげられており、以下、「仕組みが複雑だから」(27.5%)、「説明や情報が専門的だから」(24.6%)が続いている。

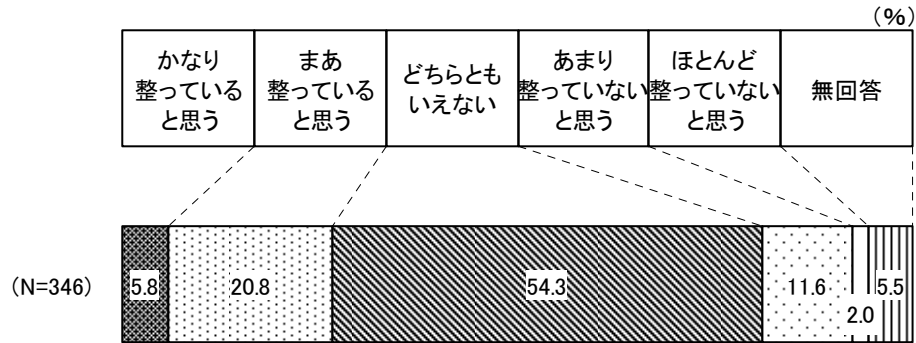
問 17-1 (問 17 で「4.ややわかりにくい」「5.かなりわかりにくい」に○をつけた方に) わかりにくいと思うのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)



#### 4. 福祉サービスが利用しやすい環境整備

福祉サービスが利用しやすい環境について、“整っている”との回答は26.6%となっている。“整っていない”との回答は12.6%と少ないが、半数以上の人々が「どちらともいえない」としている。

問18 あなたは、羽村市には福祉サービスが利用しやすい環境が整っていると思いますか。(〇はひとつ)



#### <属性別比較>

居住年数別にみると、「55～64歳」や居住年数「9年以下」の人では「どちらともいえない」との回答が目立っている。

	合計	かなり整っていると思う	まあ整っていると思う	どちらともいえない	あまり整っていないと思う	ほとんど整っていないと思う	無回答
【全体】	346	5.8	20.8	54.3	11.6	2.0	5.5
【年齢】							
20～39歳	72	4.2	23.6	55.6	12.5	2.8	1.4
40～54歳	82	1.2	25.6	54.9	14.6	2.4	1.2
55～64歳	70	2.9	▼ 15.7	☆ 72.9	▼ 4.3	1.4	2.9
65～74歳	68	7.4	▼ 11.8	54.4	14.7	2.9	8.8
75歳以上	50	○ 16.0	△ 30.0	★ 26.0	10.0	0.0	○ 18.0
【居住年数】							
9年以下	73	2.7	▼ 13.7	☆ 71.2	11.0	0.0	1.4
10～19年	47	6.4	23.4	△ 59.6	▼ 6.4	2.1	2.1
20年以上	217	6.5	23.0	▼ 47.9	12.4	2.8	7.4

#### <前回比較>

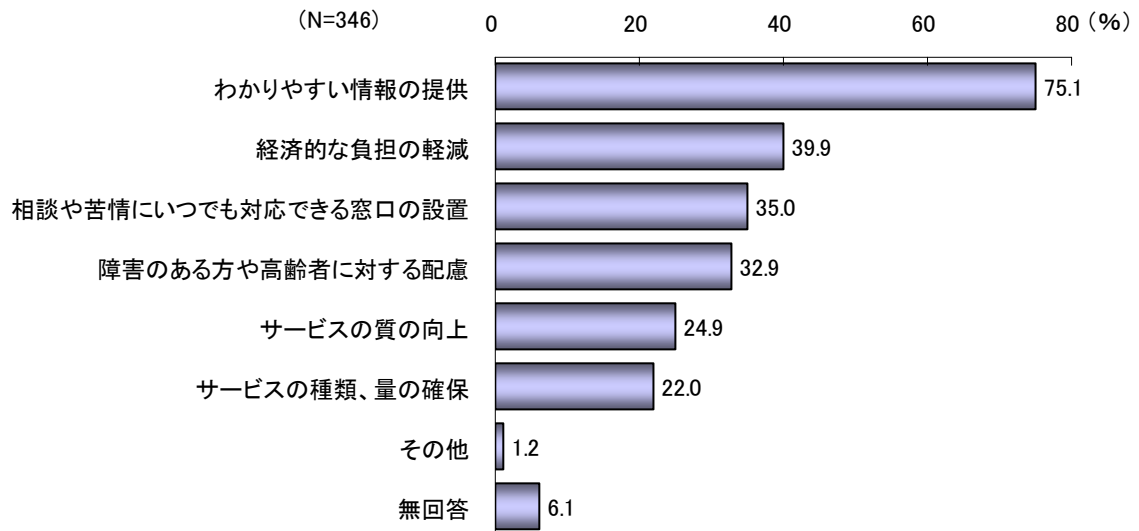
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

	合計	かなり整っていると思う	まあ整っていると思う	どちらともいえない	あまり整っていないと思う	ほとんど整っていないと思う	無回答
今回調査	346	5.8	20.8	54.3	11.6	2.0	5.5
前回調査	486	3.5	25.7	57.0	6.0	2.5	5.3

## 5. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと

サービスを利用しやすい環境を整備するために充実すべきこととしては、「わかりやすい情報の提供」(75.1%)が最も多く、ついで、「経済的な負担の軽減」(39.9%)、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」(35.0%)、「障害のある方や高齢者に対する配慮」(32.9%)が3割台で続いている。

問19 保健、医療、福祉サービスを利用しやすい環境を整備するため、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



### <属性別比較>

年齢別では、「40～54歳」では、「わかりやすい情報の提供」や「経済的な負担の軽減」をあげる人がやや多くなっている。「60～74歳」では、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」が多くなっている。

	合計	わかりやすい情報の提供	経済的な負担の軽減	相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置	障害のある方や高齢者に対する配慮	サービスの質の向上	サービスの種類、量の確保	その他	無回答
<b>【全体】</b>	346	75.1	39.9	35.0	32.9	24.9	22.0	1.2	6.1
<b>【年齢】</b>									
20～39歳	72	75.0	44.4	● 23.6	● 19.4	26.4	△ 27.8	2.8	2.8
40～54歳	82	△ 82.9	○ 50.0	35.4	35.4	25.6	24.4	1.2	▼ 0.0
55～64歳	70	72.9	38.6	34.3	37.1	△ 30.0	22.9	1.4	5.7
65～74歳	68	73.5	41.2	☆ 50.0	△ 38.2	25.0	19.1	0.0	8.8
75歳以上	50	▼ 66.0	★ 18.0	▼ 30.0	36.0	▼ 16.0	● 12.0	0.0	○ 18.0



## <前回比較>

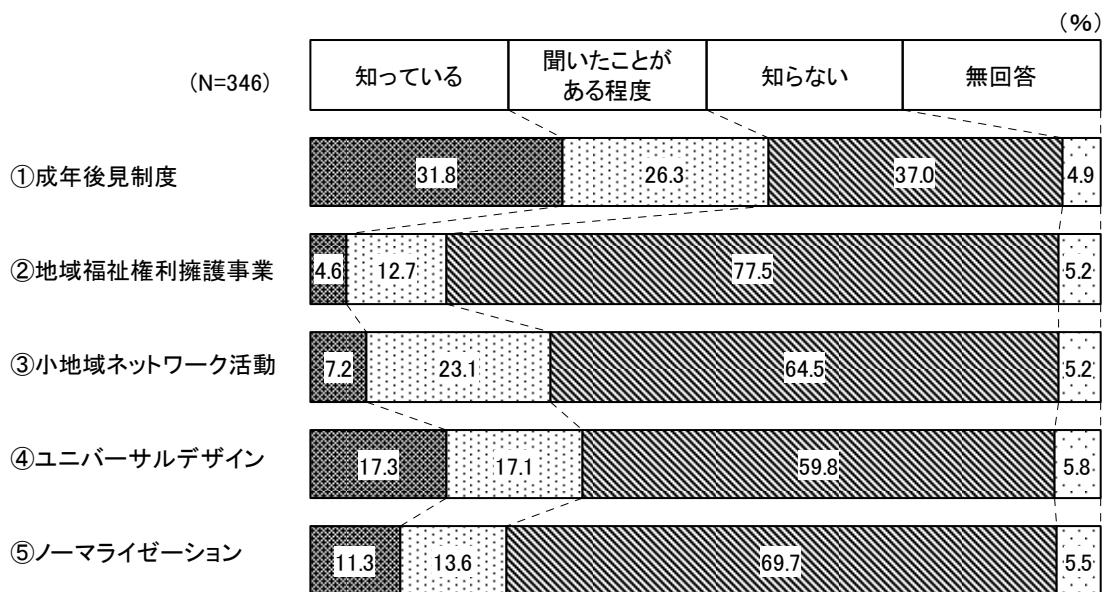
前回調査と比較すると、「障害のある方や高齢者に対する配慮」をあげる人がやや増加している。

									(%)
	合計	わかりやすい情報の提供	経済的な負担の軽減	相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置	障害のある方や高齢者に対する配慮	サービスの質の向上	サービスの種類、量の確保	その他	無回答
今回調査	346	75.1	39.9	35.0	32.9	24.9	22.0	1.2	6.1
前回調査	486	75.9	40.9	31.7	27.0	23.7	22.4	2.1	6.2

## 6. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況

福祉にかかわる制度や言葉の認知状況をみると、「①成年後見制度」は「知らない」とする人は37.0%にとどまっているが、他の4項目は「知らない」との回答がほぼ6割を超えている。

問20 あなたは、次にあげる福祉にかかわる制度や言葉をご存知ですか。(項目ごとに○はひとつ)



### <属性別認知率>

「①成年後見制度」の認知率は、「55～64歳」で高く、「③小地域ネットワーク活動」は、「55～74歳」でやや高くなっている。「④ユニバーサルデザイン」は、「20～54歳」で50%前後の高い認知率となっているが、「65歳以上」では1割台にとどまっている。「⑤ノーマライゼーション」も、「20～39歳」での認知率が43.1%と高くなっている。

	合計	①成年後見制度	②地域福祉権利擁護事業	③小地域ネットワーク活動	④ユニバーサルデザイン	⑤ノーマライゼーション
<b>【全体】</b>	346	58.1	17.3	30.3	34.4	24.9
<b>【年齢】</b>						
20～39歳	72	54.2	19.4	27.8	☆ 51.4	☆ 43.1
40～54歳	82	59.8	17.1	29.3	○ 47.6	△ 31.7
55～64歳	70	○ 72.9	18.6	△ 37.1	32.9	24.3
65～74歳	68	60.3	17.6	△ 36.8	★ 17.6	● 13.2
75歳以上	50	★ 40.0	14.0	● 20.0	★ 12.0	★ 6.0

### <前回比較>

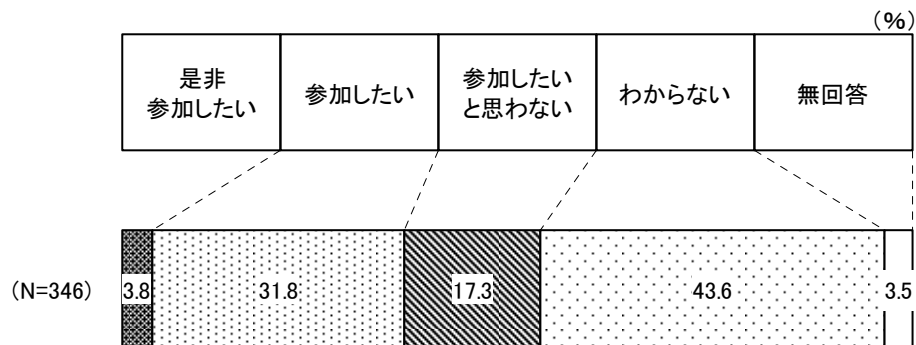
前回調査と比較すると、「①成年後見制度」の認知率が大きく増加している。他方、「④ユニバーサルデザイン」、「⑤ノーマライゼーション」についてはやや少なくなっている。

	合計	①成年後見制度	②地域福祉権利擁護事業	③小地域ネットワーク活動	④ユニバーサルデザイン	⑤ノーマライゼーション
<b>今回調査</b>	346	58.1	17.3	30.3	34.4	24.9
<b>前回調査</b>	486	42.4	22.0	33.3	40.0	31.1

## 7. 福祉に関する講習や研修などの参加意向

福祉に関する講習や研修に“参加したい”とする人は35.6%であり、3人に1人強の割合となっている。「参加したいと思わない」は17.3%にとどまり、「わからない」(43.6%)とする人が多くなっている。

問21 あなたは、今後福祉に関する講習や研修などがあった場合、参加したいと思いますか。(〇はひとつ)



### <属性別比較>

“参加したい”との回答は、「65～74歳」に多く、45.6%を占めている。

	合計	是非参加したい	参加したい	参加したいと思わない	わからない	無回答
【全体】	346	3.8	31.8	17.3	43.6	3.5
【年齢】						
20～39歳	72	2.8	31.9	16.7	47.2	1.4
40～54歳	82	3.7	29.3	17.1	△ 50.0	0.0
55～64歳	70	2.9	31.4	15.7	△ 50.0	0.0
65～74歳	68	5.9	△ 39.7	19.1	● 29.4	5.9
75歳以上	50	4.0	▼ 22.0	20.0	40.0	○ 14.0

### <前回比較>

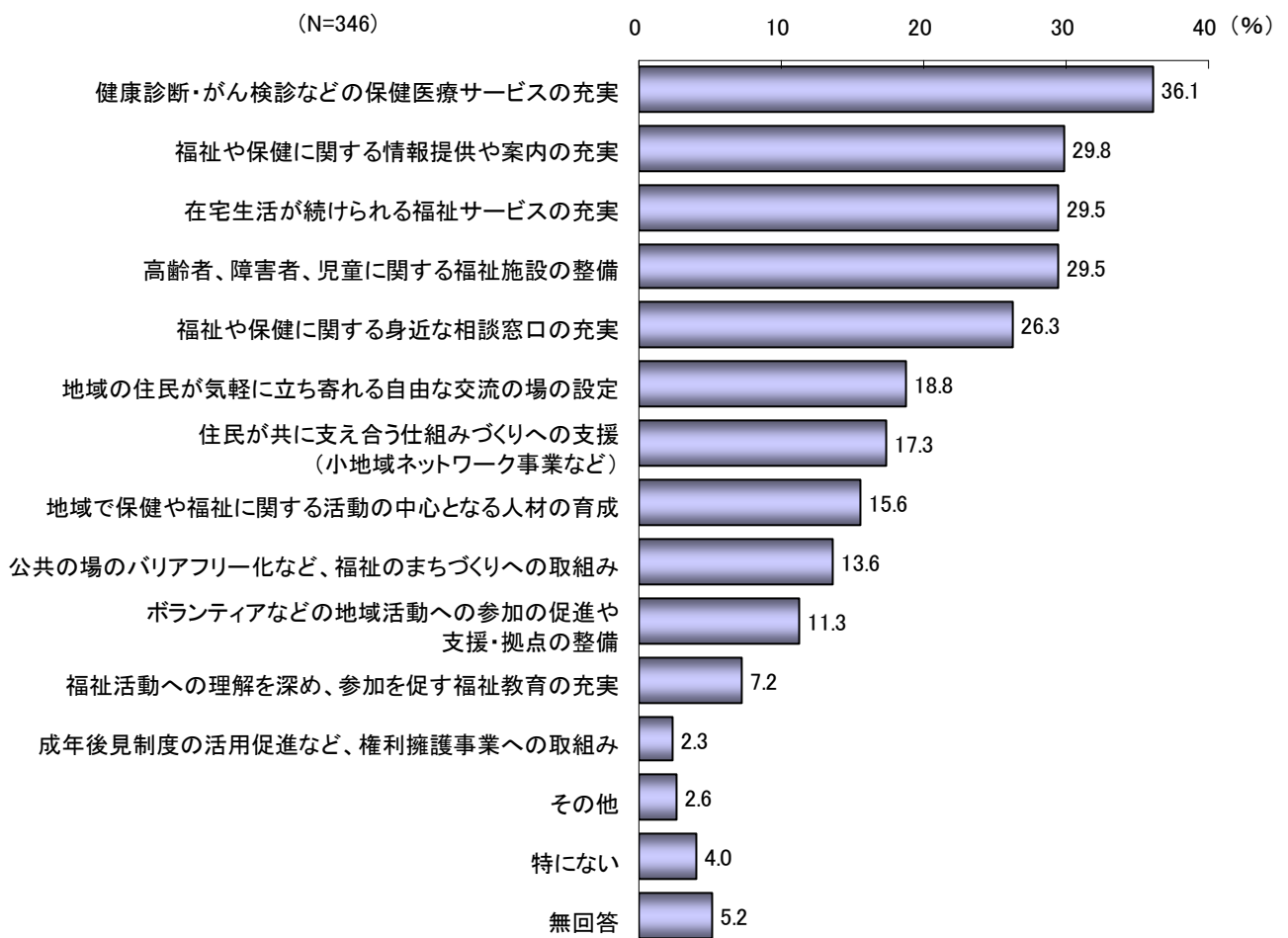
前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

	合計	是非参加したい	参加したい	参加したいと思わない	わからない	無回答
今回調査	346	3.8	31.8	17.3	43.6	3.5
前回調査	486	4.9	28.4	14.2	49.6	2.9

## 8. 今後優先して取り組むべき施策

今後優先して取り組むべき施策としては、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」、「福祉や保健に関する情報提供や案内の充実」、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」、「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」、「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」の5項目が25%以上で上位にあげられているが、全体として多様な要望があがっている。

問22 今後、羽村市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)



<属性別比較>

属性別にみると、居住年数「9年以下」で「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」をあげる人の多さが目立っている。

(%)

	合計	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	福祉や保健に関する情報提供や案内の充実	在宅生活が続けられる福祉サービスの充実	高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備	福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実	地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援(小地域ネットワーク事業など)
<b>【全体】</b>	346	36.1	29.8	29.5	29.5	26.3	18.8	17.3
<b>【年齢】</b>								
20～39歳	72	○ 48.6	▼ 23.6	▼ 22.2	31.9	▼ 18.1	13.9	16.7
40～54歳	82	35.4	△ 35.4	▼ 22.0	34.1	26.8	▼ 11.0	18.3
55～64歳	70	32.9	△ 37.1	30.0	27.1	25.7	22.9	15.7
65～74歳	68	▼ 30.9	26.5	○ 39.7	29.4	○ 38.2	△ 26.5	16.2
75歳以上	50	▼ 28.0	▼ 20.0	△ 38.0	▼ 20.0	24.0	22.0	22.0
<b>【居住年数】</b>								
9年以下	73	38.4	27.4	● 15.1	☆ 45.2	23.3	15.1	▼ 11.0
10～19年	47	△ 42.6	31.9	29.8	★ 10.6	▼ 21.3	17.0	△ 23.4
20年以上	217	33.6	29.5	34.1	27.6	28.6	20.7	18.4
<b>【居住地区】</b>								
小作台・栄町	67	34.3	26.9	31.3	29.9	25.4	▼ 11.9	17.9
川崎・玉川・羽・羽東	38	31.6	31.6	31.6	26.3	26.3	21.1	18.4
神明台	53	△ 41.5	30.2	34.0	28.3	26.4	△ 24.5	▼ 11.3
富士見平・双葉町	44	38.6	○ 40.9	27.3	△ 38.6	22.7	20.5	13.6
羽加美・羽西・羽中	75	34.7	▼ 24.0	▼ 21.3	▼ 24.0	26.7	17.3	21.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	35.5	27.4	△ 35.5	32.3	30.6	22.6	16.1

	合計	地域で保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成	公共の場のバリアフリー化など、福祉のまちづくりへの取り組み	ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援・拠点の整備	福祉活動への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実	成年後見制度の活用促進など、権利擁護事業への取り組み	その他	特にない	無回答
<b>【全体】</b>	346	15.6	13.6	11.3	7.2	2.3	2.6	4.0	5.2
<b>【年齢】</b>									
20～39歳	72	12.5	12.5	11.1	5.6	4.2	6.9	4.2	1.4
40～54歳	82	△ 24.4	13.4	13.4	△ 14.6	2.4	3.7	4.9	▼ 0.0
55～64歳	70	15.7	15.7	12.9	10.0	1.4	0.0	4.3	1.4
65～74歳	68	13.2	16.2	13.2	▼ 1.5	1.5	0.0	1.5	7.4
75歳以上	50	▼ 10.0	10.0	▼ 4.0	▼ 2.0	2.0	0.0	6.0	☆ 22.0
<b>【居住年数】</b>									
9年以下	73	15.1	▼ 8.2	11.0	9.6	4.1	4.1	8.2	2.7
10～19年	47	△ 23.4	▼ 8.5	10.6	10.6	2.1	2.1	2.1	2.1
20年以上	217	14.7	16.1	12.0	6.0	1.8	1.8	3.2	6.9
<b>【居住地区】</b>									
小作台・栄町	67	△ 25.4	9.0	14.9	3.0	0.0	3.0	3.0	7.5
川崎・玉川・羽・羽東	38	15.8	13.2	10.5	10.5	0.0	2.6	5.3	2.6
神明台	53	11.3	11.3	7.5	9.4	1.9	0.0	1.9	3.8
富士見平・双葉町	44	18.2	13.6	9.1	▼ 0.0	0.0	2.3	4.5	2.3
羽加美・羽西・羽中	75	▼ 8.0	17.3	10.7	△ 14.7	4.0	1.3	5.3	8.0
五ノ神・緑ヶ丘	62	14.5	17.7	14.5	4.8	6.5	4.8	4.8	3.2

<前回比較>

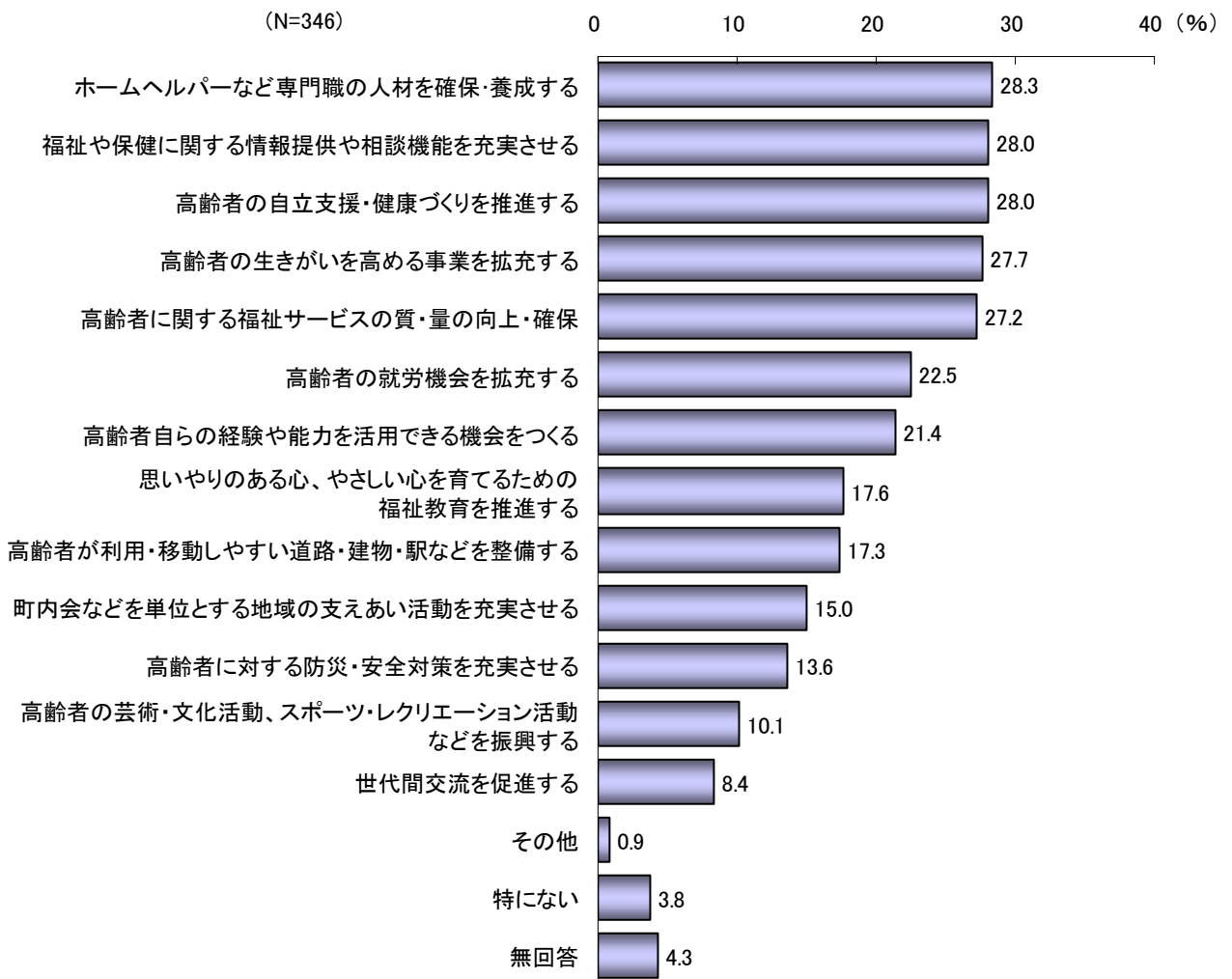
前回調査と比較すると、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」がやや増加し、「地域で保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成」は少なくなっている。

						(%)
	合計	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	福祉や保健に関する情報提供や案内の充実	在宅生活が続けられる福祉サービスの充実	高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備	福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実
今回調査	346	36.1	29.8	29.5	29.5	26.3
前回調査	486	30.7	28.8	26.1	27.0	27.2
	合計	地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（小地域ネットワーク事業など）	地域で保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成	公共の場のバリアフリー化など、福祉のまちづくりへの取り組み	ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援・拠点の整備
今回調査	346	18.8	17.3	15.6	13.6	11.3
前回調査	486	17.7	19.3	26.1	17.7	10.7
	合計	福祉活動への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実	成年後見制度の活用促進など、権利擁護事業への取り組み	その他	特になし	無回答
今回調査	346	7.2	2.3	2.6	4.0	5.2
前回調査	486	8.8	2.9	4.1	2.7	4.7

## 9. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと

高齢者の住みやすいまちづくりに重要なことは、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する」、「福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実させる」、「高齢者の自立支援・健康づくりを推進する」、「高齢者の生きがいを高める事業を拡充する」、「高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」の5項目が25%以上で上位にあげられているが、全般的に多様なニーズがみられる。

問23 高齢者が暮らしやすいまちをつくるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)



<属性別比較>

属性別にみると、「55～64歳」では「高齢者の自立支援・健康づくりを推進する」、「富士見平・双葉町」地区では「福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実させる」、「小作台・栄町」地区では「高齢者自らの経験や能力を活用できる機会をつくる」をあげる人が多くなっている。

	合計	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する	福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実させる	高齢者の自立支援・健康づくりを推進する	高齢者の生きがいを高める事業を拡充する	高齢者に 関する福祉サービスの質・量の向上・確保	高齢者の就労機会を拡充する	高齢者自らの経験や能力を活用できる機会をつくる	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する	(%)
<b>【全体】</b>	346	28.3	28.0	28.0	27.7	27.2	22.5	21.4	17.6	
<b>【年齢】</b>										
20～39歳	72	23.6	25.0	● 15.3	26.4	▼ 20.8	△ 30.6	△ 27.8	19.4	
40～54歳	82	△ 34.1	25.6	30.5	25.6	24.4	△ 29.3	△ 28.0	15.9	
55～64歳	70	▼ 22.9	28.6	○ 40.0	28.6	△ 35.7	△ 28.6	20.0	20.0	
65～74歳	68	30.9	△ 33.8	29.4	△ 36.8	26.5	▼ 13.2	17.6	22.1	
75歳以上	50	32.0	28.0	● 18.0	▼ 22.0	26.0	★ 6.0	● 8.0	▼ 10.0	
<b>【居住年数】</b>										
9年以下	73	30.1	▼ 19.2	23.3	△ 32.9	● 15.1	△ 31.5	26.0	16.4	
10～19年	47	25.5	27.7	25.5	27.7	☆ 46.8	23.4	23.4	14.9	
20年以上	217	29.0	31.8	29.0	26.7	26.3	18.9	19.8	19.4	
<b>【居住地区】</b>										
小作台・栄町	67	28.4	26.9	26.9	26.9	22.4	22.4	○ 32.8	19.4	
川崎・玉川・羽・羽東	38	23.7	26.3	△ 34.2	△ 34.2	28.9	23.7	18.4	15.8	
神明台	53	30.2	▼ 18.9	24.5	28.3	32.1	△ 30.2	17.0	▼ 11.3	
富士見平・双葉町	44	▼ 20.5	○ 40.9	31.8	● 13.6	27.3	22.7	● 11.4	△ 27.3	
羽加美・羽西・羽中	75	29.3	26.7	▼ 22.7	32.0	24.0	18.7	22.7	17.3	
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 35.5	29.0	30.6	32.3	29.0	21.0	21.0	14.5	

	合計	高齢者が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する	町内会などを単位とする地域の支えあい活動を充実させる	高齢者に対する防災・安全対策を充実させる	高齢者の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などを振興する	世代間交流を促進する	その他	特になし	無回答	
<b>【全体】</b>	346	17.3	15.0	13.6	10.1	8.4	0.9	3.8	4.3	
<b>【年齢】</b>										
20～39歳	72	20.8	△ 20.8	16.7	11.1	△ 15.3	2.8	4.2	2.8	
40～54歳	82	19.5	13.4	△ 20.7	△ 15.9	6.1	0.0	3.7	0.0	
55～64歳	70	▼ 8.6	▼ 8.6	▼ 5.7	8.6	4.3	1.4	2.9	0.0	
65～74歳	68	22.1	13.2	▼ 7.4	11.8	7.4	0.0	0.0	8.8	
75歳以上	50	14.0	△ 20.0	16.0	● 0.0	10.0	0.0	△ 10.0	△ 14.0	
<b>【居住年数】</b>										
9年以下	73	△ 23.3	16.4	15.1	12.3	12.3	0.0	5.5	2.7	
10～19年	47	12.8	▼ 8.5	▼ 8.5	△ 17.0	6.4	0.0	4.3	2.1	
20年以上	217	15.7	16.1	13.8	7.8	7.8	1.4	2.8	5.5	
<b>【居住地区】</b>										
小作台・栄町	67	▼ 11.9	14.9	14.9	10.4	4.5	0.0	6.0	6.0	
川崎・玉川・羽・羽東	38	15.8	△ 21.1	▼ 5.3	13.2	10.5	2.6	5.3	2.6	
神明台	53	15.1	15.1	11.3	13.2	9.4	1.9	1.9	5.7	
富士見平・双葉町	44	△ 22.7	11.4	15.9	6.8	9.1	2.3	2.3	2.3	
羽加美・羽西・羽中	75	14.7	16.0	12.0	6.7	12.0	0.0	4.0	4.0	
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 25.8	12.9	△ 19.4	11.3	6.5	0.0	3.2	3.2	



<前回比較>

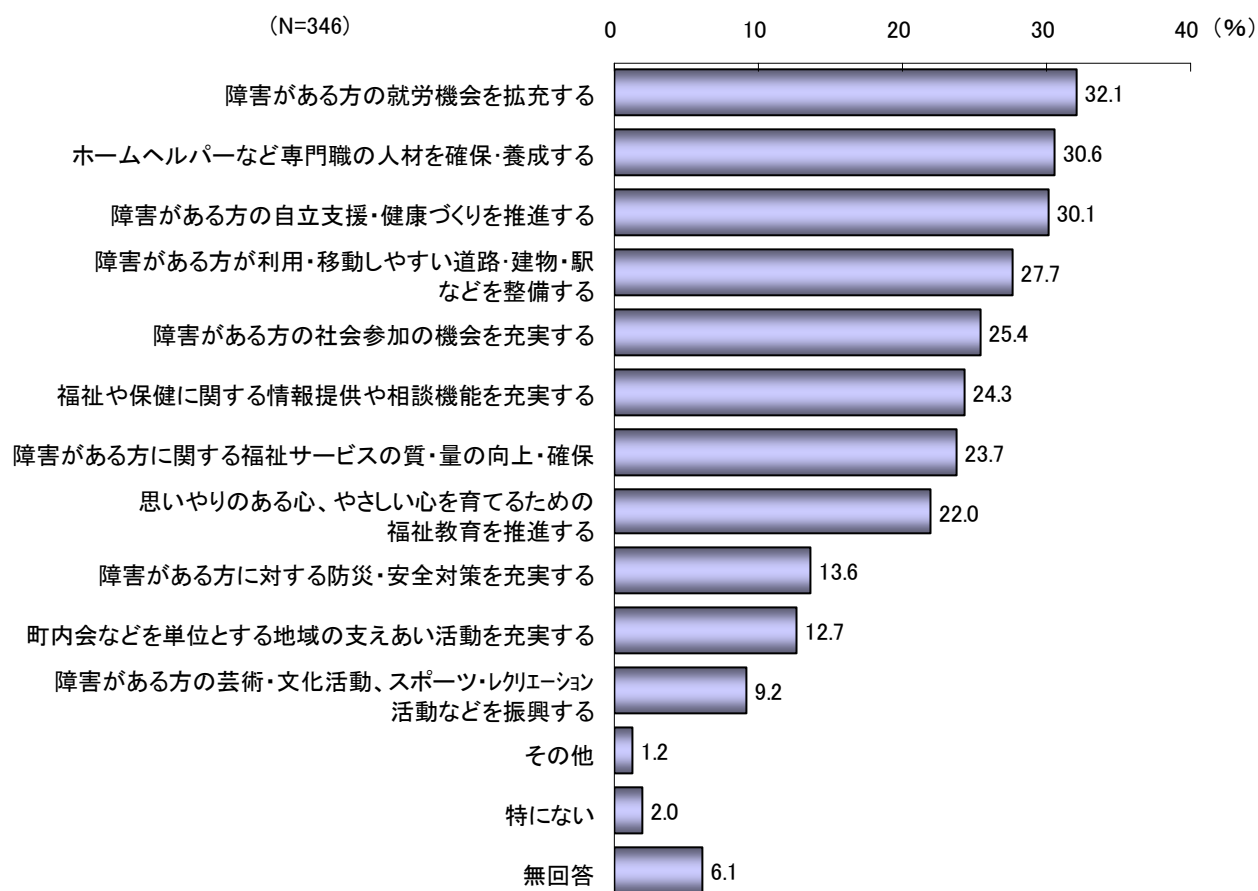
前回調査と比較すると、基本的に大きな変化はみられない。

							(%)
	合計	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する	福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実させる	高齢者の自立支援・健康づくりを推進する	高齢者の生きがいを高める事業を拡充する	高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保	高齢者の就労機会を拡充する
今回調査	346	28.3	28.0	28.0	27.7	27.2	22.5
前回調査	486	28.8	26.1	23.5	23.3	30.0	20.6
	合計	高齢者自らの経験や能力を活用できる機会をつくる	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する	高齢者が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する	町内会などを単位とする地域の支えあい活動を充実させる	高齢者に対する防災・安全対策を充実させる	高齢者の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などを振興する
今回調査	346	21.4	17.6	17.3	15.0	13.6	10.1
前回調査	486	19.3	20.4	21.8	14.0	10.3	8.2
	合計	世代間交流を促進する	その他	特にない	無回答		
今回調査	346	8.4	0.9	3.8	4.3		
前回調査	486	9.1	1.4	3.1	2.7		

## 10. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なことについても全体として多岐にわたる要望がみられるが、「障害がある方の就労機会を拡充する」、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する」、「障害がある方の自立支援・健康づくりを推進する」が3割台で上位にあげられている。ついで、「障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する」「障害がある方の就労機会を拡充する」から「思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する」までの5項目が2割台で続いている。

問24 障害のある方が暮らしやすいまちをつくるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)



<属性別比較>

年齢別にみると、「40～54歳」で「障害がある方の就労機会を拡充する」が多くなっている。  
 居住年数別にみると、「10～19年」で「障害がある方の社会参加の機会を充実する」が多くなっている。

地区別にみると、「川崎・玉川・羽・羽東」地区で「障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する」を、「五ノ神・緑ヶ丘」地区で「障害のある方の自立支援・健康づくりを推進する」をあげる人が目立っている。

(%)

	合計	障害がある方の就労機会を拡充する	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する	障害がある方の自立支援・健康づくりを推進する	障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する	障害がある方の社会参加の機会を充実する	福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実する	障害がある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保
<b>【全体】</b>	346	32.1	30.6	30.1	27.7	25.4	24.3	23.7
<b>【年齢】</b>								
20～39歳	72	△ 37.5	▼ 23.6	▼ 25.0	△ 33.3	△ 30.6	19.4	20.8
40～54歳	82	○ 43.9	31.7	△ 39.0	30.5	△ 31.7	26.8	△ 29.3
55～64歳	70	30.0	28.6	32.9	28.6	30.0	▼ 18.6	22.9
65～74歳	68	▼ 23.5	△ 38.2	29.4	25.0	▼ 16.2	△ 30.9	23.5
75歳以上	50	● 20.0	30.0	▼ 22.0	▼ 18.0	● 14.0	24.0	▼ 18.0
<b>【居住年数】</b>								
9年以下	73	37.0	28.8	26.0	△ 34.2	28.8	20.5	23.3
10～19年	47	△ 38.3	29.8	29.8	27.7	○ 36.2	▼ 14.9	25.5
20年以上	217	30.0	31.3	31.3	25.8	22.6	27.2	22.6
<b>【居住地区】</b>								
小作台・栄町	67	31.3	▼ 23.9	26.9	▼ 20.9	25.4	26.9	25.4
川崎・玉川・羽・羽東	38	31.6	26.3	△ 36.8	☆ 44.7	△ 31.6	21.1	23.7
神明台	53	30.2	30.2	★ 13.2	32.1	26.4	▼ 18.9	20.8
富士見平・双葉町	44	▼ 25.0	▼ 25.0	34.1	25.0	▼ 18.2	△ 31.8	△ 29.5
羽加美・羽西・羽中	75	32.0	△ 36.0	● 20.0	26.7	28.0	24.0	▼ 18.7
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 38.7	△ 37.1	☆ 53.2	25.8	24.2	21.0	25.8

	合計	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する	障害がある方に対する防災・安全対策を充実する	町内会などを単位とする地域の支えあい活動を充実する	障害がある方の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などを振興する	その他	特になし	無回答
<b>【全体】</b>	346	22.0	13.6	12.7	9.2	1.2	2.0	6.1
<b>【年齢】</b>								
20～39歳	72	18.1	△ 19.4	9.7	9.7	2.8	4.2	2.8
40～54歳	82	22.0	11.0	▼ 7.3	9.8	1.2	1.2	▼ 0.0
55～64歳	70	24.3	17.1	11.4	10.0	0.0	2.9	2.9
65～74歳	68	19.1	▼ 5.9	14.7	11.8	1.5	1.5	△ 11.8
75歳以上	50	△ 28.0	14.0	○ 24.0	▼ 4.0	0.0	0.0	○ 18.0
<b>【居住年数】</b>								
9年以下	73	24.7	11.0	9.6	5.5	1.4	4.1	2.7
10～19年	47	▼ 17.0	17.0	14.9	△ 17.0	0.0	4.3	2.1
20年以上	217	22.1	13.4	13.4	8.8	1.4	0.9	7.8
<b>【居住地区】</b>								
小作台・栄町	67	▼ 14.9	▼ 7.5	14.9	11.9	0.0	3.0	9.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	26.3	▼ 7.9	▼ 5.3	13.2	2.6	2.6	5.3
神明台	53	○ 32.1	9.4	15.1	9.4	1.9	0.0	3.8
富士見平・双葉町	44	18.2	△ 20.5	13.6	6.8	2.3	2.3	6.8
羽加美・羽西・羽中	75	25.3	13.3	17.3	8.0	1.3	4.0	5.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	19.4	△ 22.6	8.1	6.5	0.0	0.0	4.8

## <前回比較>

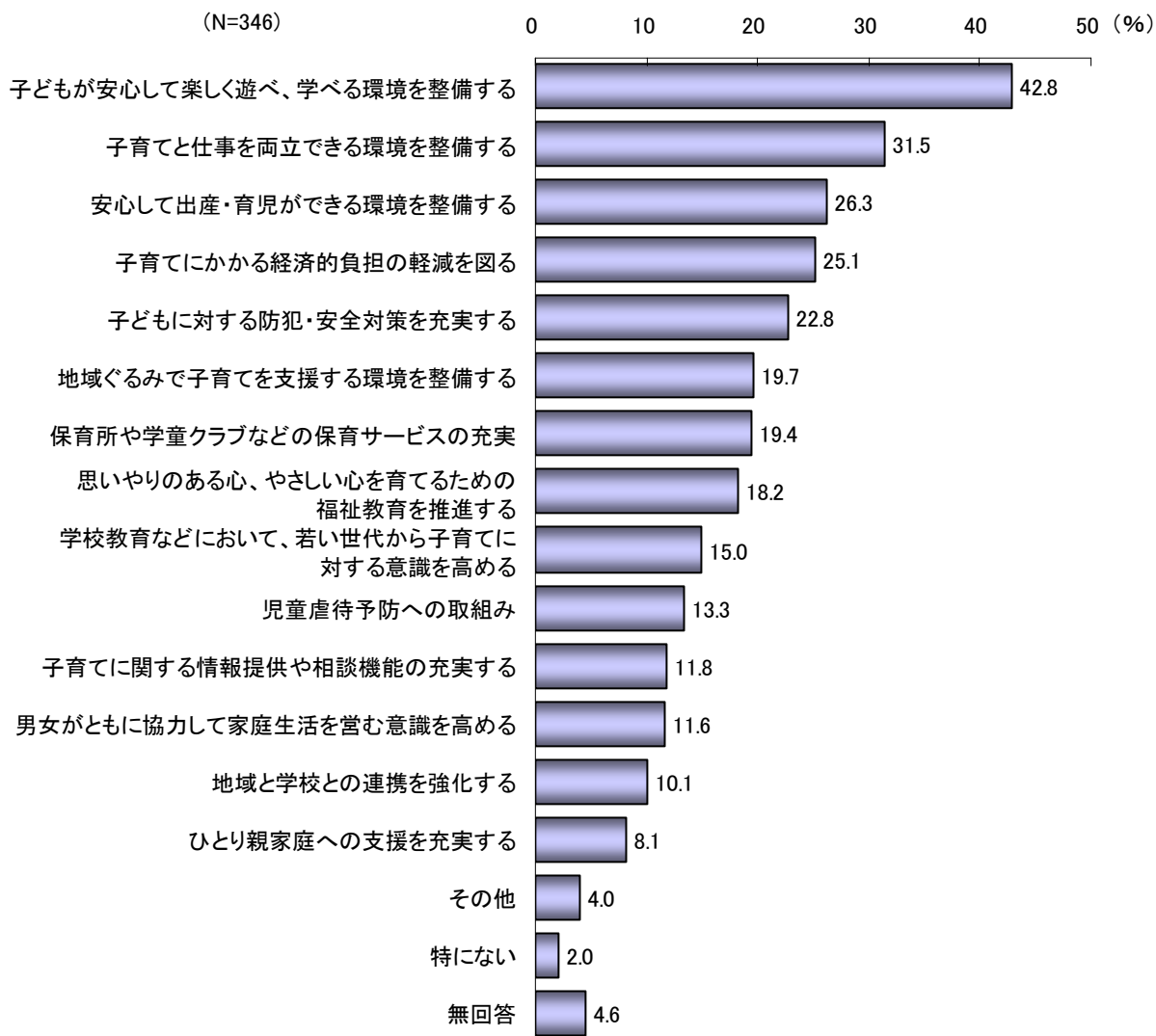
前回調査と比較すると、「福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実する」がやや増加している。

								(%)
	合計	障害がある方の就労機会を拡充する	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成する	障害がある方の自立支援・健康づくりを推進する	障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する	障害がある方の社会参加の機会を充実する	福祉や保健に関する情報提供や相談機能を充実する	障害がある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保
今回調査	346	32.1	30.6	30.1	27.7	25.4	24.3	23.7
前回調査	486	28.2	31.7	29.6	31.1	25.7	18.7	24.1
	合計	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する	障害がある方に対する防災・安全対策を充実する	町内会などを単位とする地域の支えあい活動を充実する	障害がある方の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動を振興する	その他	特になし	無回答
今回調査	346	22.0	13.6	12.7	9.2	1.2	2.0	6.1
前回調査	486	23.5	13.2	9.5	7.8	1.2	2.3	5.6

## 1 1. 子どもを健やかに育てるために重要なこと

子どもを健やかに育てるために重要なこととしては、「子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する」(42.8%)が最も多く、4割を超えている。ついで、「子育てと仕事を両立できる環境を整備する」(31.5%)が3割台で続いているが、全般的にニーズが多様化している。

問25 子どもを健やかに育てるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)



<属性別比較>

年齢別にみると、「20～39歳」では「子育てに係る経済的負担の軽減を図る」、「子どもに対する防犯・安全対策を充実する」、「保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実」が多い。  
 居住年数別にみると、「9年以下」では「安心して出産・育児ができる環境を整備する」と「保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実」が、「10～19年」では「子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する」が多い。  
 地区別にみると、「川崎・玉川・羽・羽東」地区では「地域ぐるみで子育てを支援する環境を整備する」が、「神明台」地区では「子どもに対する防犯・安全対策を充実する」が多い。

	合計	子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する	子育てと仕事を両立できる環境を整備する	安心して出産・育児ができる環境を整備する	子育てにかかる経済的負担の軽減を図る	子どもに対する防犯・安全対策を充実する	地域ぐるみで子育てを支援する環境を整備する	保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する
<b>【全体】</b>	346	42.8	31.5	26.3	25.1	22.8	19.7	19.4	18.2
<b>【年齢】</b>									
20～39歳	72	△ 48.6	36.1	△ 34.7	○ 38.9	○ 33.3	▼ 13.9	○ 30.6	▼ 12.5
40～54歳	82	42.7	△ 39.0	△ 32.9	△ 30.5	△ 28.0	17.1	22.0	15.9
55～64歳	70	42.9	34.3	22.9	▼ 18.6	▼ 15.7	24.3	18.6	△ 24.3
65～74歳	68	▼ 35.3	30.9	25.0	20.6	▼ 17.6	22.1	16.2	17.6
75歳以上	50	44.0	★ 12.0	● 12.0	● 12.0	▼ 16.0	22.0	★ 4.0	22.0
<b>【居住年数】</b>									
9年以下	73	46.6	31.5	○ 38.4	△ 34.2	20.5	▼ 11.0	○ 30.1	13.7
10～19年	47	○ 55.3	▼ 23.4	25.5	25.5	△ 31.9	21.3	17.0	● 6.4
20年以上	217	39.2	34.1	23.5	21.2	22.1	22.6	16.1	21.7
<b>【居住地区】</b>									
小作台・栄町	67	▼ 37.3	△ 37.3	△ 31.3	29.9	19.4	16.4	△ 26.9	▼ 11.9
川崎・玉川・羽・羽東	38	42.1	34.2	▼ 21.1	▼ 15.8	▼ 13.2	○ 31.6	15.8	○ 31.6
神明台	53	47.2	32.1	△ 32.1	28.3	○ 34.0	17.0	20.8	17.0
富士見平・双葉町	44	▼ 36.4	31.8	▼ 20.5	27.3	27.3	15.9	15.9	18.2
羽加美・羽西・羽中	75	40.0	▼ 25.3	28.0	▼ 17.3	24.0	18.7	▼ 12.0	21.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 51.6	30.6	22.6	△ 32.3	19.4	22.6	22.6	16.1

	合計	学校教育などにおいて、若い世代から子育てに対する意識を高める	児童虐待予防への取組み	子育てに関する情報提供や相談機能の充実する	男女がともに協力して家庭生活を営む意識を高める	地域と学校との連携を強化する	ひとり親家庭への支援を充実する	その他	特になし	無回答
<b>【全体】</b>	346	15.0	13.3	11.8	11.6	10.1	8.1	4.0	2.0	4.6
<b>【年齢】</b>										
20～39歳	72	▼ 8.3	15.3	13.9	8.3	8.3	5.6	4.2	1.4	1.4
40～54歳	82	11.0	13.4	11.0	7.3	14.6	8.5	8.5	0.0	1.2
55～64歳	70	15.7	17.1	10.0	7.1	12.9	7.1	1.4	2.9	1.4
65～74歳	68	○ 25.0	8.8	11.8	13.2	▼ 1.5	10.3	2.9	4.4	8.8
75歳以上	50	16.0	12.0	14.0	○ 24.0	14.0	8.0	0.0	2.0	△ 14.0
<b>【居住年数】</b>										
9年以下	73	12.3	9.6	11.0	▼ 5.5	9.6	8.2	6.8	1.4	2.7
10～19年	47	17.0	14.9	10.6	8.5	14.9	10.6	2.1	2.1	0.0
20年以上	217	15.2	14.3	12.9	13.8	9.7	7.4	3.2	1.8	6.5
<b>【居住地区】</b>										
小作台・栄町	67	10.4	16.4	11.9	▼ 6.0	10.4	4.5	4.5	3.0	6.0
川崎・玉川・羽・羽東	38	13.2	▼ 7.9	10.5	△ 18.4	△ 15.8	7.9	5.3	5.3	0.0
神明台	53	▼ 9.4	△ 20.8	7.5	9.4	11.3	5.7	3.8	1.9	5.7
富士見平・双葉町	44	△ 20.5	▼ 4.5	13.6	11.4	9.1	9.1	2.3	2.3	4.5
羽加美・羽西・羽中	75	16.0	12.0	12.0	14.7	10.7	10.7	6.7	0.0	5.3
五ノ神・緑ヶ丘	62	△ 21.0	16.1	16.1	9.7	6.5	9.7	0.0	1.6	3.2

## <前回比較>

前回調査と比較すると、「子育てと仕事を両立できる環境を整備する」と「保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実」がやや増加している。

							(%)
	合計	子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する	子育てと仕事を両立できる環境を整備する	安心して出産・育児ができる環境を整備する	子育てにかかる経済的負担の軽減を図る	子どもに対する防犯・安全対策を充実する	地域ぐるみで子育てを支援する環境を整備する
今回調査	346	42.8	31.5	26.3	25.1	22.8	19.7
前回調査	486	39.5	25.3	24.9	28.6	20.6	17.3
	合計	保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育を推進する	学校教育などにおいて、若い世代から子育てに対する意識を高める	児童虐待予防への取り組み	子育てに関する情報提供や相談機能の充実する	男女がともに協力して家庭生活を営む意識を高める
今回調査	346	19.4	18.2	15.0	13.3	11.8	11.6
前回調査	486	12.3	20.2	16.9	11.1	8.6	13.4
	合計	地域と学校との連携を強化する	ひとり親家庭への支援を充実する	その他	特になし	無回答	
今回調査	346	10.1	8.1	4.0	2.0	4.6	
前回調査	486	8.8	5.3	2.3	3.1	4.9	





資料：調查票



## 地域福祉計画二一ズ調査結果報告書

発行日／平成 24 年 3 月

発 行／羽村市 福祉健康部 社会福祉課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘 5-2-1  
TEL. 042-555-1111